

農林業を取り巻く情勢

農林業総合計画に基づく取組み

I 農業

第1 農業を取り巻く情勢

1 農業の概況	P 1
---------	-----

第2 令和6年度の取組み

農林業総合計画における施策の体系（農業）	P 34
1 持続できる強い農業の推進	P 35
2 農畜産物の安定的な供給の確保	P 42
3 農村地域の振興、農と都市との共生	P 46
4 目標項目の進捗状況（農業）	P 48

第3 令和7年度の取組み

1 予算と重要施策	P 52
2 重要施策における主な事業	P 53

Ⅱ 林業

第1 林業を取り巻く情勢

- 1 森林の概況・・・・・・・・・・・・・・・・ P61

第2 令和6年度の取組み

- 農林業総合計画における施策の体系（林業）・・・・・・・・ P63
- 1 森林の有する多面的機能の発揮・・・・・・・・ P64
- 2 都市型・循環型林業の構築・・・・・・・・ P69
- 3 森林環境税・森林環境譲与税・・・・・・・・ P74
- 4 目標項目の進捗状況（林業）・・・・・・・・ P75

第3 令和7年度の取組み

- 1 予算と重要施策・・・・・・・・ P76
- 2 重要施策における主な事業・・・・・・・・ P77

I 農業

第1 農業を取り巻く情勢

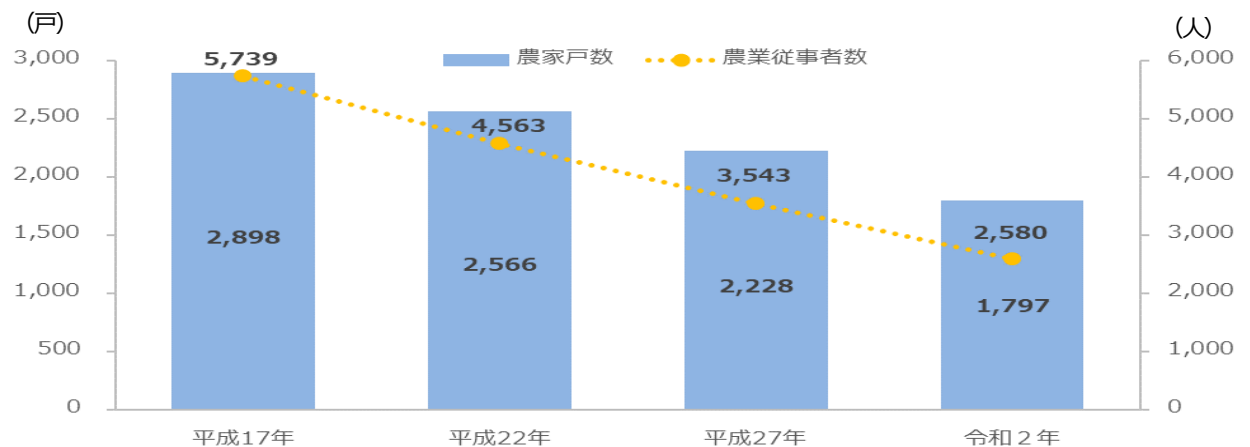
1 農業の概況

農業の構造（農業従事者）

（1）農業従事者数、農家戸数

- ・令和2年の農業従事者数は2,580人、農家戸数は1,797戸で依然として減少傾向が続いている
- ・令和2年の個人経営体数は1,014経営体で、前回平成27年調査時の約8割に減少
- ・令和7年（2025年）農林業センサスの結果は今秋以降順次公表予定

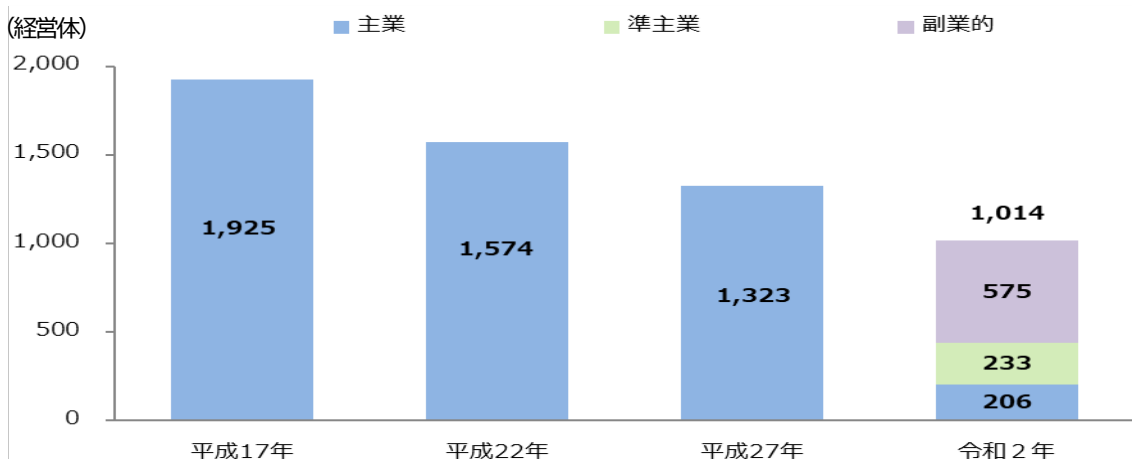
＜農業従事者数、農家戸数の推移＞



資料：農林水産省「農林業センサス」

（2）主副業別農業経営体数（個人経営体）

＜農業経営体数の推移＞



資料：農林水産省「農林業センサス」

※農林業センサス（2020）より、経営体の主副業別の調査が実施されているため、平成27年以前は経営体の総数のみ表示

(3) 経営主の平均年齢

- ・経営主の平均年齢は 73.7 歳
- ・うち、専業農家の平均年齢は 65.4 歳

<経営主の平均年齢の推移>

(単位：歳)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経営主の平均年齢	72.6	72.9	73.3	73.7	73.7
専業農家	65.2	64.9	65.3	65.0	65.4
第1種兼業農家	70.1	70.5	70.9	71.3	70.5
第2種兼業農家	73.4	73.7	74.1	74.5	74.5

資料：福岡市農業協同組合 「組合員実態調査のまとめ」

(4) 新規就農者数・青年農業者連絡会会員数・農業研修事業受講者数

<新規就農者数等の推移>

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規就農者数	28(15)	19(8)	17(11)	25(11)	29(11)
青年農業者 連絡会会員数	28	26	21	22	23
農業研修 受講者数	15	10	18	27	28

資料：福岡市農業政策課

※新規就農者数：括弧内の数値は、就農時45歳未満の人数

※青年農業者連絡会：福岡市の20～30代を中心とする若手農業者の組織

※農業研修受講者数：野菜作りの基礎研修及び農家でのインターンシップを実施する「アグリチャレンジ」の受講者延べ数

(5) 女性農業者の割合

<女性農業者の割合の推移>

(単位：%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
女性農業者の割合	38.8	40.1	41.1	40.8	42.5

資料：福岡市農業政策課

※福岡市農業協同組合の正組合員数における女性の割合

(6) 認定農業者数

- ・認定農業者数は213 経営体
- ・花き、野菜の施設園芸を主とする経営体が117 経営体（単一経営 104、準単一経営 13）となっており、全体の54.9%を占める

～認定農業者制度～

農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、認定を受けた農業者に対して重点的に支援措置を講じるもの

<認定農業者数の推移>

(単位：経営体)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定農業者数	226	214	217	216	213

資料：福岡市農業政策課

<認定農業者の経営形態（令和6年度）>

区分	単一経営							準単一経営					複合経営	計
	稲作	露地野菜	施設野菜	施設花き	果樹	畜産等	その他	稲作+野菜	露地野菜+他	施設野菜+他	施設花き+他	その他		
経営体数	4	13	69	35	5	13	3	6	8	12	1	13	31	213
構成比(%)	1.9	6.1	32.4	16.4	2.3	6.1	1.4	2.8	3.8	5.6	0.5	6.1	14.6	100

資料：福岡市農業政策課

※「単一経営」：経営体の農産物販売金額に占める第1位品目の割合が80%以上となる場合

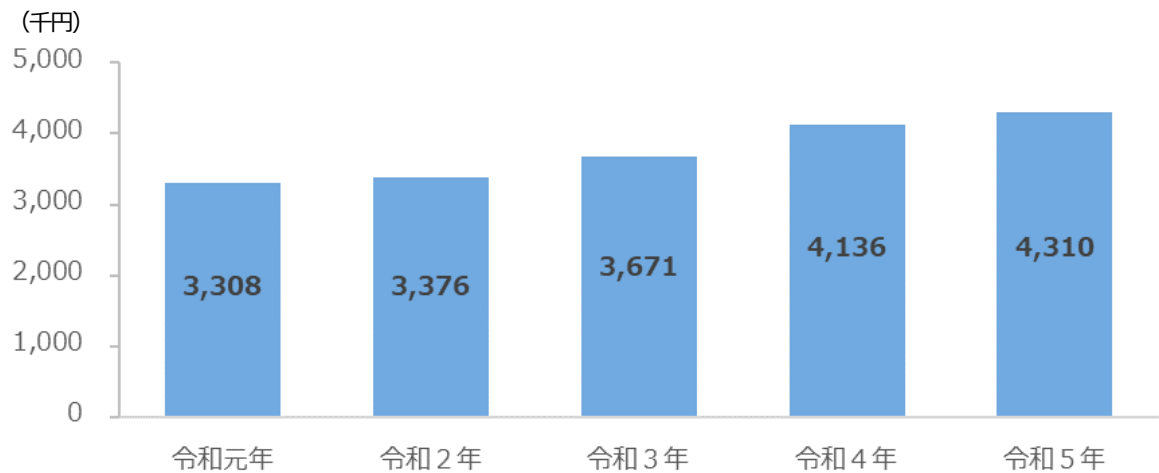
「準単一経営」：第1位品目の割合が60%以上80%未満となる場合

「複合経営」：第1位品目の割合が60%未満となる場合

(7) 専業農家の一戸あたりの平均農業所得

- ・本市の専業農家の一戸あたりの平均農業所得は431万円で、
前年より17万4,000円増加

<専業農家の一戸あたりの平均農業所得>



資料：福岡市農家所得調査

<令和6年度福岡市農家所得調査>

農家分類別農業所得金額

(単位：千円)

区分	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
令和5年平均農業所得	4,310	2,487	325

資料：福岡市農家所得調査

※調査対象：福岡市農業協同組合の組合員世帯3,279戸（回答数425戸）

参考：国の情勢

（１）基幹的農業従事者数・平均年齢

- ・令和6年の農業就業人口（基幹的農業従事者数）は111万4,000人で、前年と比べ5万人減少
- ・令和6年の平均年齢は69.2歳

＜基幹的農業従事者数の推移（各年2月1日現在）＞

（単位：千人、歳）

項 目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
基幹的農業従事者	1,363	1,302	1,226	1,164	1,114
65歳以上	949	905	860	823	799
（割合 %）	（69.6）	（69.5）	（70.1）	（70.7）	（71.7）
75歳以上	432	410	403	415	432
（割合 %）	（31.7）	（31.5）	（32.9）	（35.7）	（38.8）
平均年齢	67.8	67.9	68.4	68.7	69.2

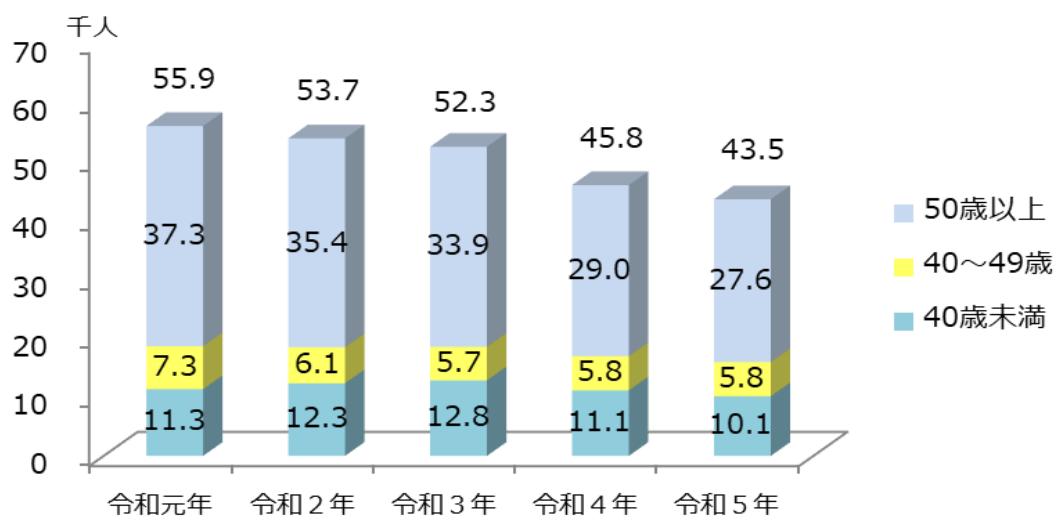
資料：農林水産省 「農業構造動態調査」、「2020年農林業センサス」

※基幹的農業従事者：ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

（２）新規就農者数

- ・令和5年の新規就農者数は4万3,500人で、前年と比べ減少

＜新規就農者数の推移＞



資料：農林水産省「新規就農者調査」

(3) 女性農業者数

- ・令和6年の基幹的農業従事者の女性農業者数は43万1,000人で前年と比べ2万1,000人減少
- ・基幹的農業従事者に占める女性の割合は、令和6年は38.7%

<女性農業者の推移>

(単位：千人、歳)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
基幹的農業従事者 (販売農家)	1,363	1,302	1,226	1,164	1,114
うち女性	541	512	480	452	431
(割合 %)	(39.7)	(39.3)	(39.2)	(38.8)	(38.7)
平均年齢	68.4	68.5	69.0	69.3	69.8

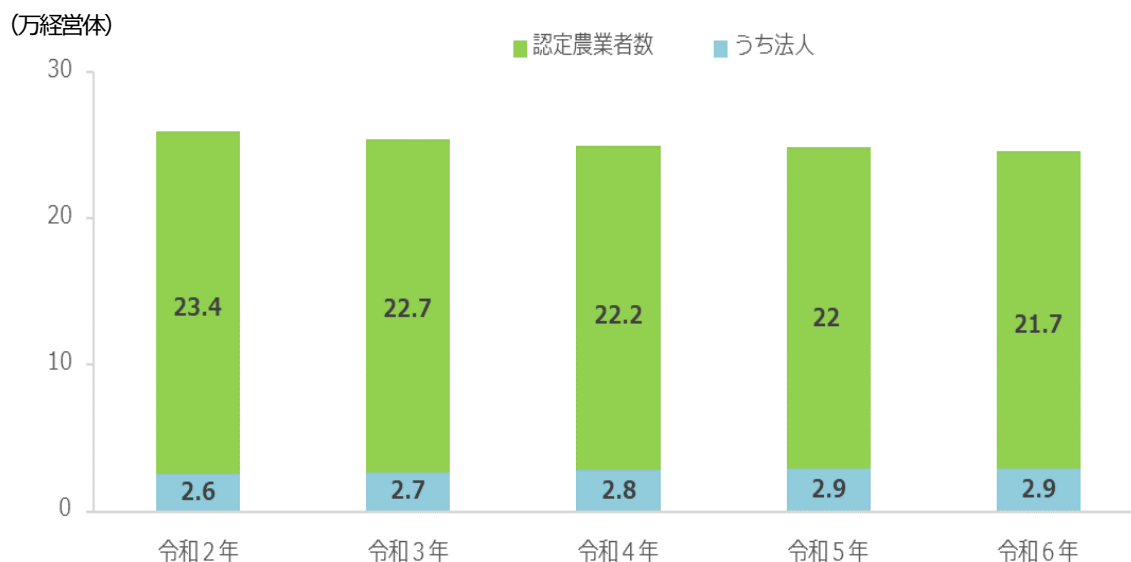
資料：農林水産省「農業構造動態調査」、「2020年農林業センサス」

※基幹的農業従事者：ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

(4) 認定農業者数

- ・認定農業者数は21万7,000経営体で、前年と比べ3,000経営体減少
- ・法人経営体は近年増加傾向

<認定農業者数の推移（各年3月末現在）>



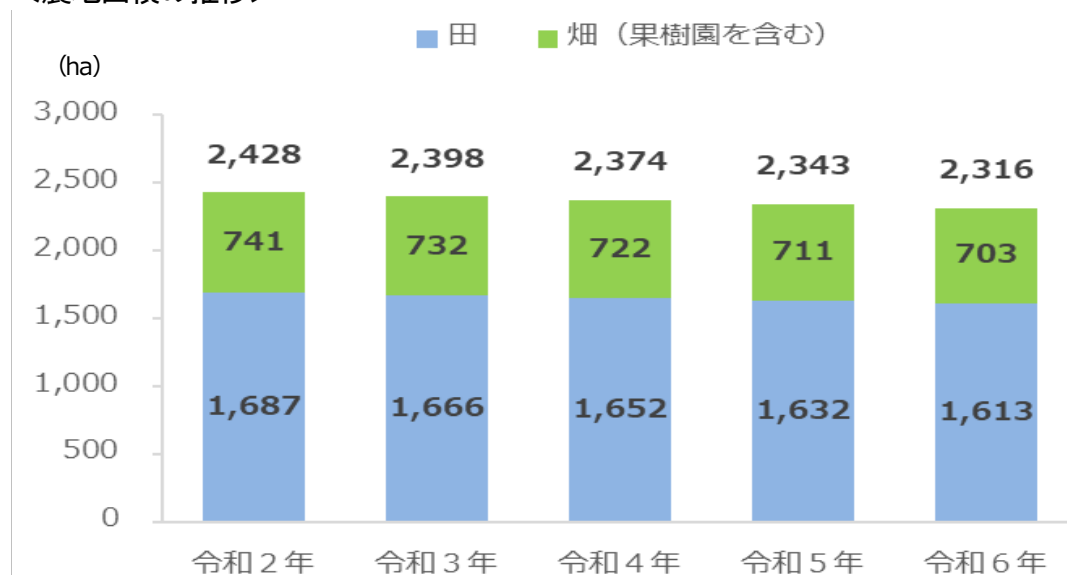
資料：農林水産省

農業構造（農地）

（１）農地面積

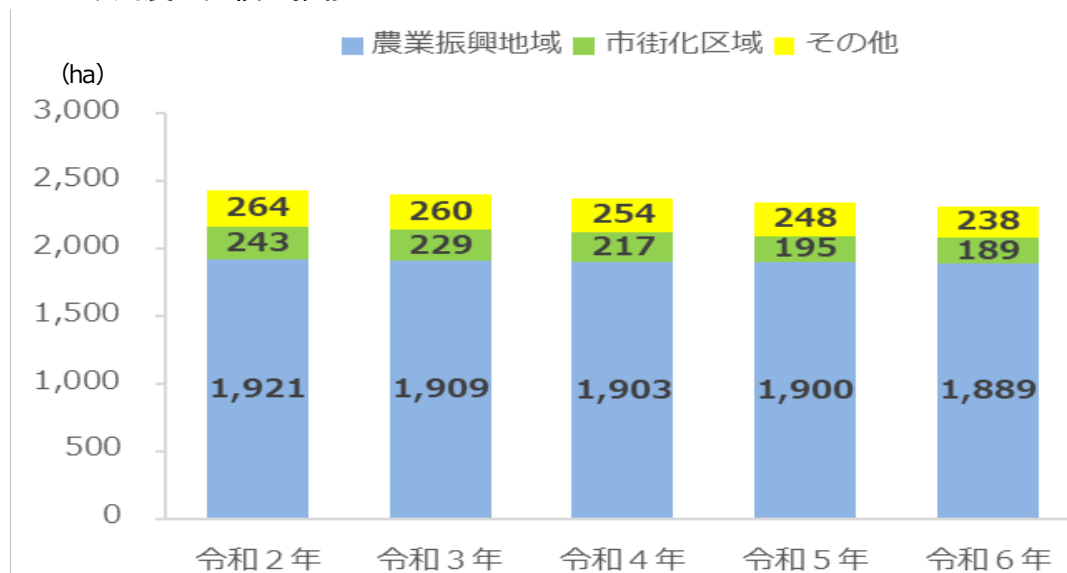
- ・農地面積は市域全面積 3 万 4,347ha の 6.7% を占める 2,316ha と、前年と比べ 0.1% 減少
- ・地目別では田が 1,613ha で全農地の 69.6%、畑（果樹園を含む）が 703ha で全農地の 30.4%
- ・地域別では、農業振興地域の農地面積が 1,889ha で全農地面積の 81.6% を占め、市街化区域の農地面積は 189ha で全農地面積の 8.2% を占める

<農地面積の推移>



※資料：福岡市農業政策課

<地域別農地面積の推移>



※資料：福岡市農業政策課

(2) 利用権設定面積

- ・効率的な生産ができるよう農地の流動化を促進し、令和6年度の利用権設定面積は91.2ha

<利用権設定面積の推移>

(単位: ha)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規設定面積	30.7	22.6	31.2	33.3	48.6
再設定面積	40.1	50.9	53.2	51.8	42.5
合計	70.8	73.5	84.4	85.1	91.2

資料: 福岡市農業政策課

※令和6年度末時点の利用権設定面積: 407.2ha

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある

(3) 農地転用面積

- ・令和6年の農地転用面積は27ha

<用途別の農地転用面積の推移>

(単位: ha)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
転用面積	32	28	31	33	27
うち公共施設	3	2	3	3	4
うち会社・工場	16	11	14	21	11
うち住宅	14	14	14	10	12

資料: 福岡市農業政策課、福岡市農業委員会

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある

(4) 耕作放棄地面積

- ・令和6年の耕作放棄地面積は321haで、全農地の13.9%
- ・そのうち、復元・利用可能な耕作放棄地は35ha

<耕作放棄地面積の推移>

(単位: ha)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
耕作放棄地 (A)	338	328	317	321	321
うち復元・利用可能※1	41	41	33	38	35
うち復元・利用困難※2	297	287	284	283	286
全農地 (B)	2,428	2,398	2,374	2,343	2,316
割合 (A/B)	13.9%	13.7%	13.4%	13.7%	13.9%

資料: 福岡市農業政策課、福岡市農業委員会

※1 草刈り・耕起・抜根・整地や基盤整備により耕作可能な土地

※2 農地として復元・利用困難な土地

(5) 都市農地の保全（生産緑地制度）

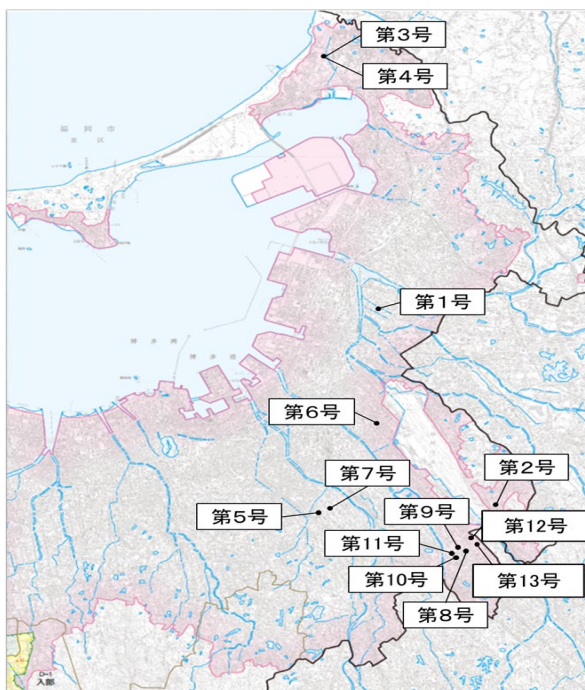
- ・平成10年に導入した生産緑地制度について、令和6年度末までに13地区2.74haを生産緑地地区として指定

<生産緑地地区指定の実績>

指定年度	指定番号	所在地	面積 (ha)	生産品目
平成10年度	第1号	東区松島1丁目	0.73	ねぎ
	第2号	博多区立花寺2丁目	0.30	市民農園
平成11年度	第3号	東区三苫3丁目	0.20	甘しょ、観葉植物
	第4号	東区三苫3丁目	0.16	観葉植物
	第5号	南区清水3丁目	0.10	しゅんぎく、小松菜
	第6号	博多区上牟田1丁目	0.44	ねぎ
平成12年度	第7号	南区清水3丁目	0.17	しゅんぎく
平成30年度	第8号	博多区麦野2丁目	0.17	玉ねぎ、水菜
令和2年度	第9号	博多区麦野2丁目	0.10	米
	第10号	博多区麦野1丁目	0.07	枝豆、白菜、キャベツ
	第11号	博多区板付7丁目	0.06	ブロッコリー、キャベツ、枝豆
令和4年度	第12号	博多区井相田1丁目	0.09	米
	第13号	博多区井相田1丁目	0.15	米
合計	13地区		2.74	

資料：福岡市農業政策課

<指定位置図>



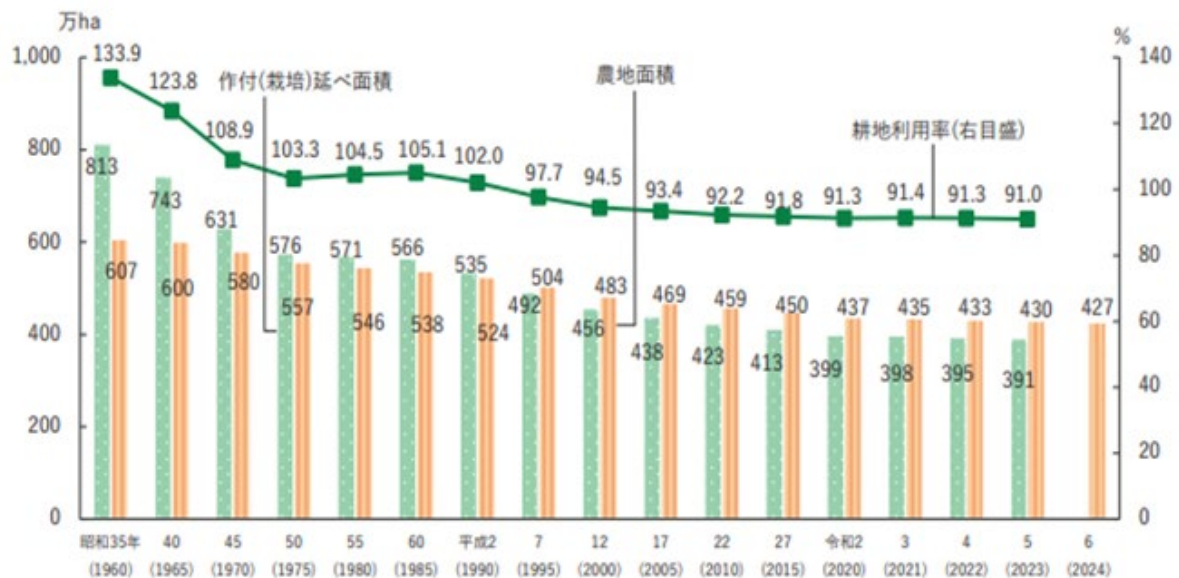
【第12号生産緑地地区（博多区井相田）】

参考：国の情勢

(1) 農地面積

- ・農地面積は、近年は緩やかな減少傾向で推移し、令和6年は427万haで、前年と比べ3万ha減少

<農地面積等の推移>



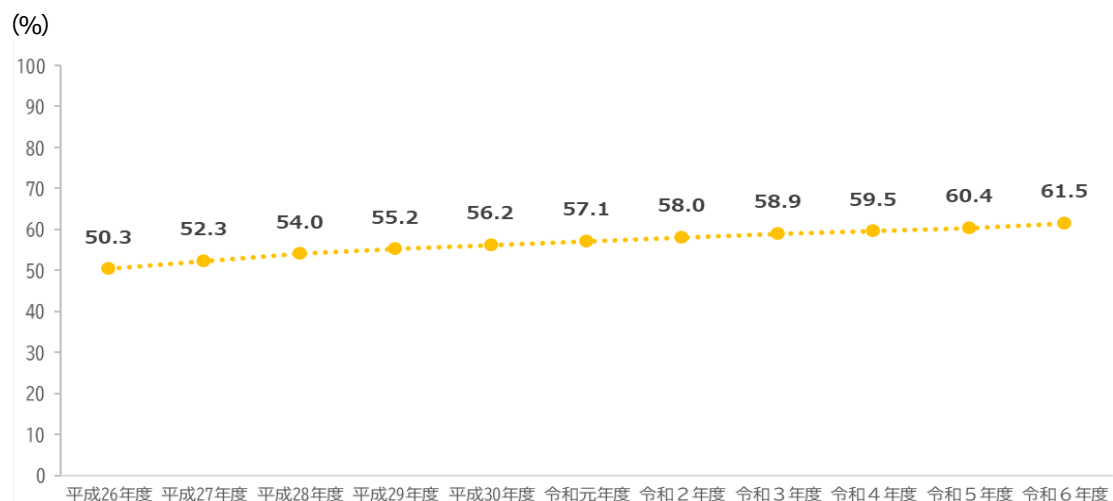
資料：農林水産省 「耕地及び作付面積統計」

※耕地利用率(%)：作付(栽培)延べ面積÷農地面積×100

(2) 担い手への農地集積率

- ・農地中間管理機構の整備や地域計画の作成等により、年々上昇しており、令和6年度末は61.5%

<担い手への農地集積率の推移>



資料：農林水産省

※担い手への農地集積率(%) = 担い手の利用面積÷耕地面積×100

(3) 農地中間管理事業の概要

- ・都道府県知事が指定する農地バンク（農地中間管理機構）が、地域計画（目標地図）に位置付けた受け手に対して、農地を貸したい人から借り受け、まとまりのある形で貸付けを実施
- ・より効果的な農地の集積・集約を行っていくため、国の制度改正により、「相対による利用権設定（出し手と受け手間の直接の農地貸借）」が廃止され、令和7年度から農地中間管理事業に一本化された。

※地域計画（目標地図）が策定されていない地域では、農業委員会の要請等に応じて農地を貸借する



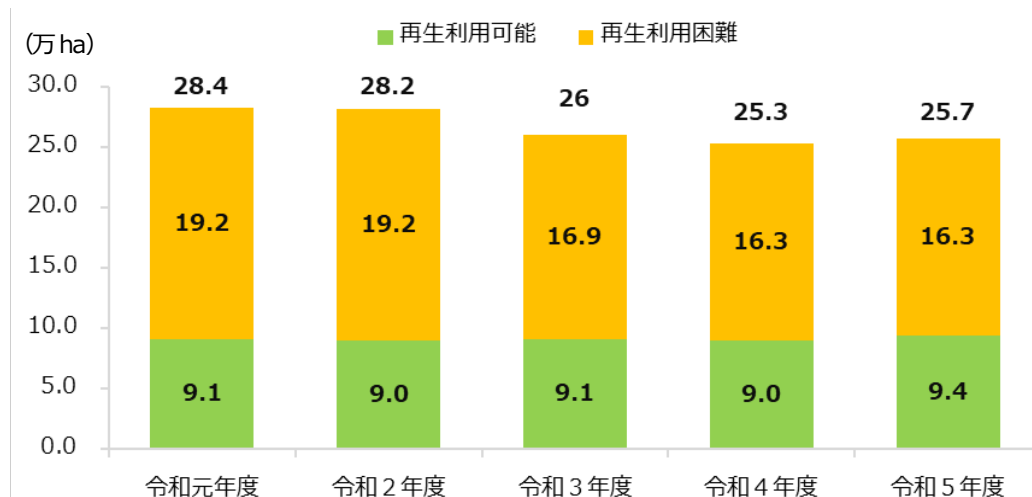
資料：農林水産省

※地域計画：改正農業経営基盤強化促進法（令和5年4月施行）において、これまでの「人・農地プラン」が法定化され、地域の農業者等の話し合いにより将来の農地利用の姿を目標地図として明確化し、農地の集約化等を推進

(4) 荒廃農地

- ・令和5年度の荒廃農地面積は25.7万haで、令和4年度と比べ4,000ha増加

<荒廃面積の推移>



資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

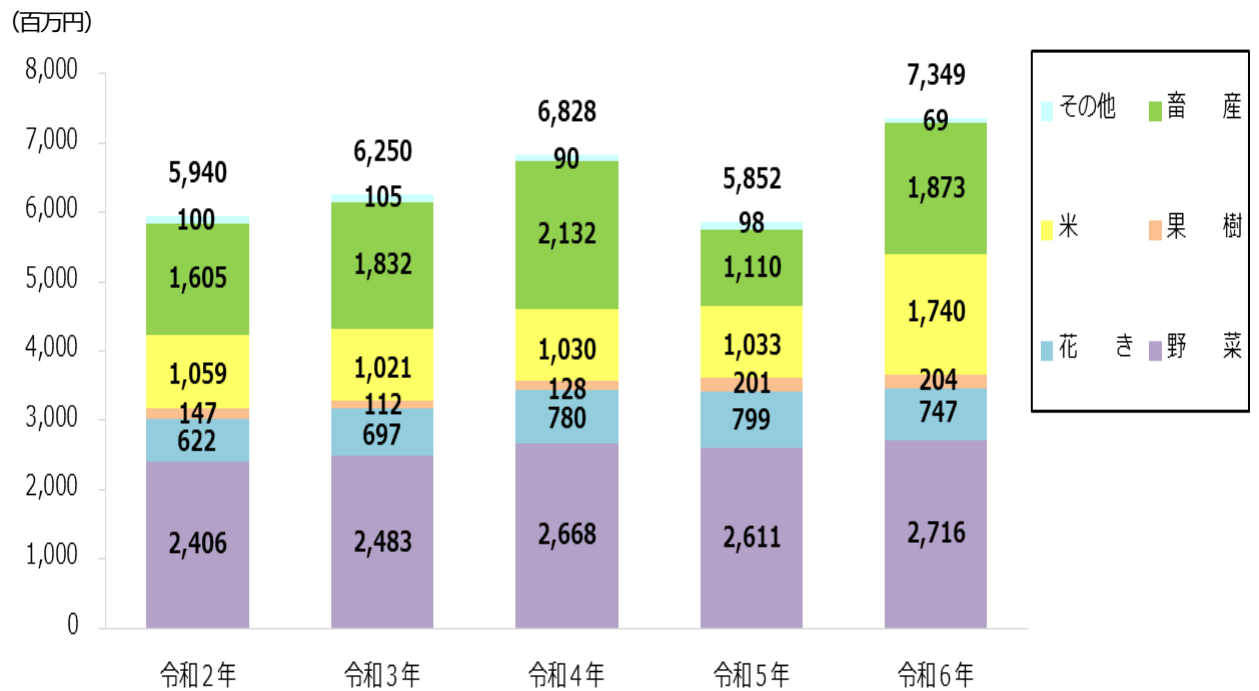
※単位未満四捨五入のため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しない場合がある

農業生産

(1) 農業生産額（※令和6年速報値）

- ・農業生産額は73億4,900万円で、前年より14億9,700万円増加
- ・野菜の割合が最も大きく、全体の3割以上を占める

<農業生産額の推移>



資料：福岡市農林水産統計書

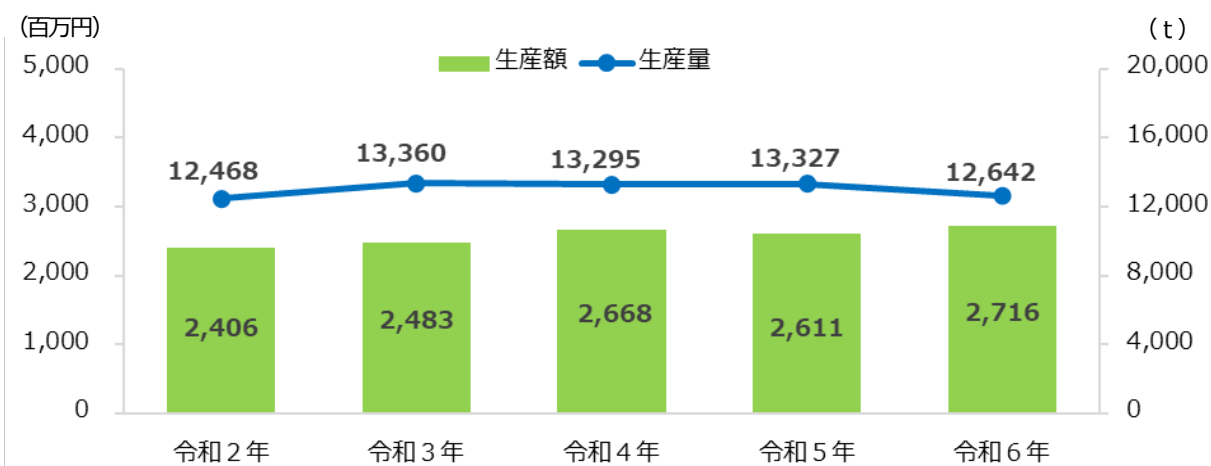
※単位未満四捨五入のため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しない場合がある

(2) 福岡市の部門別生産状況（※令和6年速報値）

【 野 菜 】

- ・ 令和6年の生産額は27億1,600万円で、前年と比べ1億500万円増加
- ・ 生産額上位3位は、いちご、だいこん、トマト
- ・ 令和6年の福岡市中央卸売市場における市内産出荷数量は約7,656 tで、市場総取扱数量約25万4,000 tの約3%

<野菜の生産量、生産額の推移>



資料：福岡市農林水産統計書

<生産量、生産額の上位5品目の推移>

区分		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
生産量 (t)	1位	だいこん	5,720	だいこん	6,067	だいこん	6,308	だいこん	6,391	だいこん	6,670
	2位	トマト	1,517	トマト	1,464	トマト	1,586	トマト	1,472	トマト	1,327
	3位	キャベツ	1,218	キャベツ	1,447	キャベツ	1,353	キャベツ	1,277	キャベツ	996
	4位	かぶ	1,187	かぶ	1,327	かぶ	1,058	かぶ	1,129	かぶ	944
	5位	しゅんぎく	652	すいか	721	すいか	653	すいか	849	すいか	658
生産額 (百万円)	1位	いちご	642	いちご	657	いちご	684	いちご	617	いちご	567
	2位	トマト	447	トマト	430	トマト	469	トマト	466	だいこん	481
	3位	しゅんぎく	389	しゅんぎく	376	だいこん	383	しゅんぎく	380	トマト	473
	4位	だいこん	232	だいこん	293	しゅんぎく	382	だいこん	356	しゅんぎく	365
	5位	かぶ	81	すいか	120	すいか	114	すいか	143	すいか	130

資料：福岡市農林水産統計書

<福岡市中央卸売市場への市内産野菜出荷状況の推移>

(単位：t)

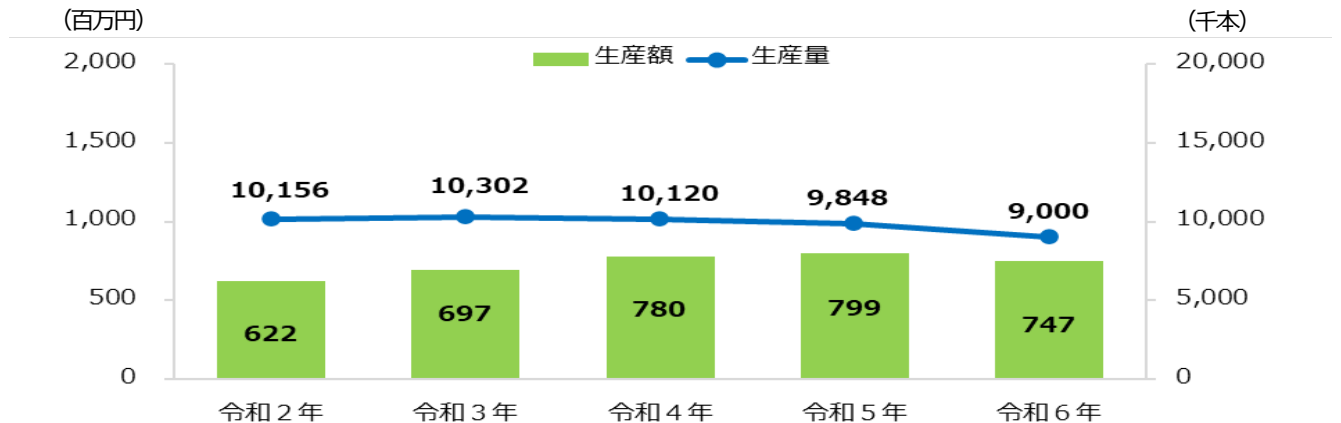
区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
市場取扱数量 (A)	242,713	242,860	246,279	249,984	254,207
市内総生産量 (B)	12,468	13,360	13,295	13,327	12,642
市内産出荷数量 (C)	7,832	8,044	8,087	8,025	7,656
市内産出荷率 (C) / (B)	62.8%	60.2%	60.8%	60.2%	60.6%
市内産シェア (C) / (A)	3.2%	3.3%	3.3%	3.2%	3.0%

資料：福岡市農林水産統計書

【 花 き 】

- ・令和6年の生産額は7億4,700万円で、前年と比べ約5,200万円減少
- ・令和6年の福岡花市場（福岡県花卉農協）における市内産出荷額は4億6,600万円で、前年より3,300万円減少

＜花きの生産量、生産額の推移＞



資料：福岡市農林水産統計書

＜生産量、生産額の上位3品目の推移＞

区分		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
生産量 (千本)	1位	バラ	3,434	バラ	3,593	バラ	3,654	バラ	3,648	バラ	3,226
	2位	ストック	1,829	ストック	1,666	ストック	1,832	ストック	1,664	ストック	1,545
	3位	菊	830	菊	850	ガーベラ	787	ガーベラ	878	ガーベラ	1,026
生産額 (百万円)	1位	バラ	248	バラ	309	バラ	356	バラ	369	バラ	327
	2位	ストック	104	ストック	98	ストック	118	ストック	125	ストック	120
	3位	トルコギキョウ	54	トルコギキョウ	51	トルコギキョウ	54	トルコギキョウ	59	トルコギキョウ	46

資料：福岡市農林水産統計書

＜福岡花市場（福岡県花卉農協）における市内産花きの出荷状況の推移＞

(単位：百万円)

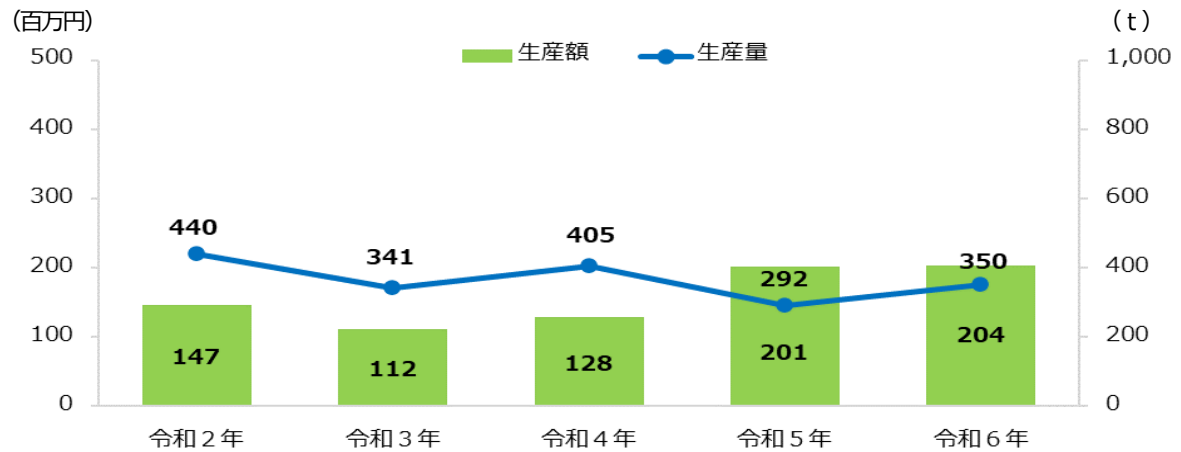
区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
福岡県花卉農協取扱金額 (A)	6,520	7,184	7,667	7,748	7,510
市内総生産額 (B)	622	697	780	799	747
市内産出荷額 (C)	395	434	490	499	466
市内産花きの出荷率 (C) / (B)	63.5%	62.3%	62.8%	62.5%	62.4%
市内産シェア (C) / (A)	6.1%	6.0%	6.4%	6.4%	6.2%

資料：福岡市農林水産統計書

【 果 樹 】

- ・令和6年の生産額は2億400万円で、前年と比べ300万円増加
- ・生産量・生産額とも主要品目は、ぶどう、甘夏柑、かきの3品目

＜果樹の生産量、生産額の推移＞



資料：福岡市農林水産統計書

＜生産量、生産額の上位3品目の推移＞

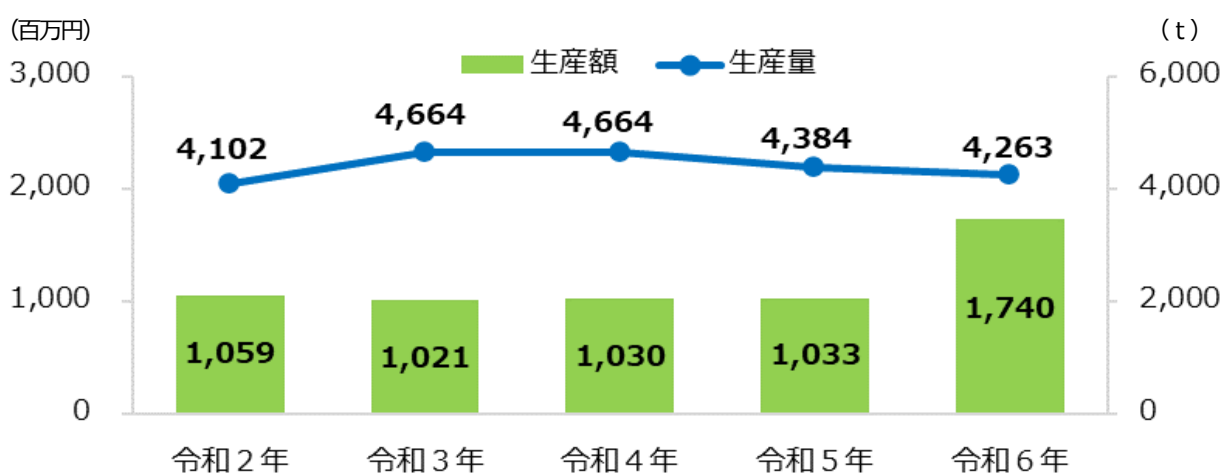
区分		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
生産量 (t)	1位	甘夏柑	274	甘夏柑	215	甘夏柑	281	甘夏柑	153	甘夏柑	243
	2位	かき	26	かき	36	かき	26	ぶどう	64	ぶどう	65
	3位	ぶどう	14	ぶどう	15	ぶどう	13	かき	23	かき	7
生産額 (百万円)	1位	甘夏柑	59	甘夏柑	53	甘夏柑	55	ぶどう	119	ぶどう	127
	2位	かき	18	ぶどう	14	ぶどう	15	甘夏柑	40	甘夏柑	57
	3位	ぶどう	12	かき	9	かき	11	かき	16	かき	5

資料：福岡市農林水産統計書

【 米 】

- ・令和6年は、生産量4,263 t、生産額は17億4,000万円
- ・福岡県産ヒノヒカリの相対取引価格は24,496円
- ・全国的な米価高騰により、令和6年は生産額が急増している
- ・「赤とんぼ米」「博多米」「ふくおか市民米」として農協独自ブランドによる販売が推進されている「ヒノヒカリ」及び「夢つくし」「元気つくし」「実りつくし」の作付割合は合計で97.2%と高い割合を占める

<米の生産量、生産額の推移>



資料：福岡市農林水産統計書

<福岡県産ヒノヒカリの相対取引価格の推移>

(単位：円/玄米 60 kg税込)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
相対取引価格	15,430	13,017	13,245	14,139	24,496

資料：農林水産省ホームページ

※1 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

※2 令和2年産から令和5年産は通年平均価格、令和6年産は出回りの10月から令和7年5月（直近）までの平均価格

<米の品種別作付面積の推移>

(単位：ha、%)

区分	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
ヒノヒカリ	557	51.2	558	51.4	530	50.4	502	49.3	473	47.5
夢つくし	151	13.9	157	14.5	157	14.9	154	15.1	151	15.2
元気つくし	301	27.7	294	27.1	292	27.8	301	29.6	310	31.1
実りつくし	51	4.7	47	4.3	45	4.3	34	3.3	35	3.5
4品種 小計	1,060	97.4	1,056	97.3	1,023	97.4	992	97.4	968	97.2
その他	28	2.6	29	2.7	27	2.6	27	2.7	28	2.8
計	1,088	100.0	1,085	100.0	1,050	100.0	1,019	100.0	996	100.0

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当

※単位未満四捨五入のため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しない場合がある

【 畜 産 】

- ・酪農について、令和6年の経産牛の飼養頭数は減少し、
生産額は4億5,400万円で、前年と比べ100万円減少
- ・肥育牛について、令和6年の飼養頭数は増加し、
生産額は3億1,800万円で、前年と比べ300万円増加
- ・養鶏について、鳥インフルエンザ等の影響で、飼養羽数が減少していたが、
令和6年には大きく回復している。生産額も回復し、11億200万円で、
前年と比べ7億6,200万円増加

<酪農の飼養頭数、生産額の推移>

(単位：頭、百万円)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
飼養頭数	685	674	651	612	590
うち経産牛	476	460	440	414	405
生産額	590	527	467	455	454

資料：福岡市農林水産統計書

<肥育牛の飼養頭数、生産額の推移>

(単位：頭、百万円)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
飼養頭数	539	540	548	584	606
うち和牛	526	525	534	573	575
うち交雑種	10	12	13	10	27
うち乳牛	3	3	1	1	4
生産額	286	318	308	315	318

資料：福岡市農林水産統計書

<養鶏の飼養羽数、生産額の推移>

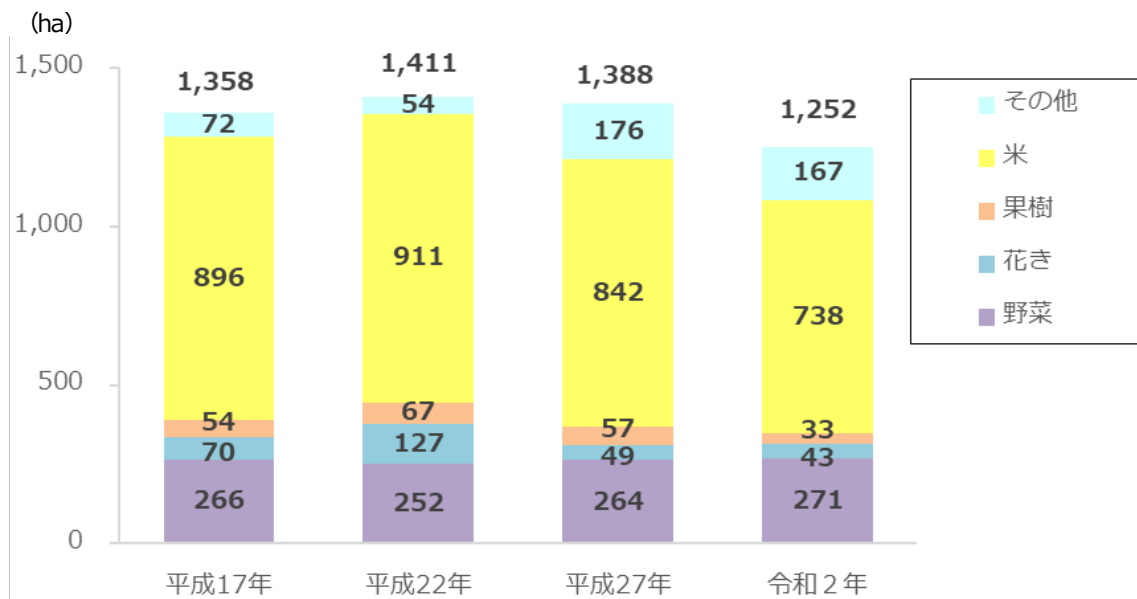
(単位：羽、百万円)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
飼養羽数	293,104	322,453	319,105	64,698	293,334
うち成鶏	253,991	284,369	313,105	64,698	293,334
うちひな	39,113	38,084	6,000	0	0
生産額	729	987	1,357	340	1,102

資料：福岡市農林水産統計書

(3) 作付面積

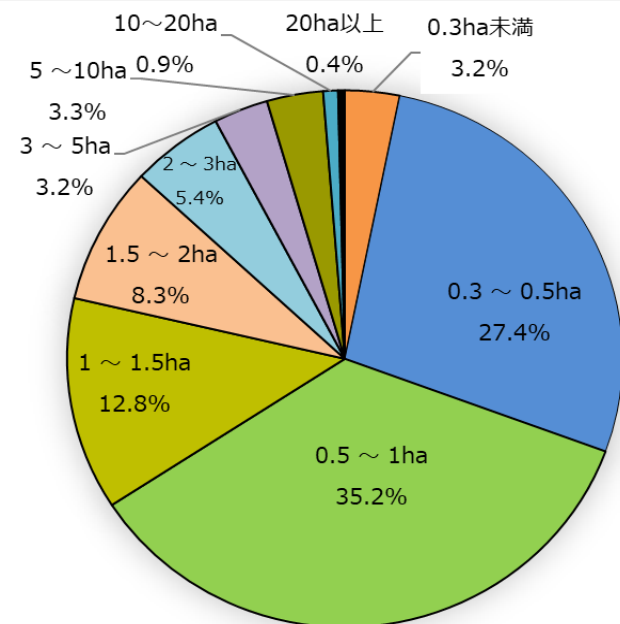
＜作付面積の推移＞



資料：農林水産省「農林業センサス」

(4) 経営体割合

＜経営規模耕地面積別の経営体割合＞



資料：農林水産省「2020年 農林業センサス」

(5) 農業協同組合の生産部会

- ・品質向上と安定供給を目的とした福岡市農業協同組合・福岡市東部農業協同組合の生産部会には、令和6年度、延べ1,170名の農家が加入

<農業協同組合の生産部会参加農家数の推移>

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生産部会 参加農家数	1,241	1,193	1,186	1,165	1,170

資料：福岡市農業協同組合、福岡市東部農業協同組合
※参加農家数は延べ数

<生産部会ごとの参加農家数内訳（令和6年度）>

耕種等	部会名等	部会員数	耕種等	部会名等	部会員数
野菜	春菊	48	野菜	かぼちゃ	3
	ねぎ	3		カリフラワー	3
	大根	18		いちご	66
	かぶ	21		その他の野菜	95
	キャベツ	12	普通作	稲作	591
	ブロッコリー	18		麦作	13
	トマト	15	果樹	うめ	3
	枝豆	17		イチジク	1
	アスパラガス	5		かんきつ	15
	すいか	3		ぶどう	20
	小松菜	4		すもも	3
	七草	2		その他の果樹	39
	かつお菜	12	花き	花き	97
	玉ねぎ	9	工芸作物	たばこ	2
	にんじん	5	その他	ハウス部会等	25
	なす	2	合 計		1,170

資料：福岡市農業協同組合、福岡市東部農業協同組合

(6) 直売所出荷農家戸数

- ・直売所出荷農家戸数は1,198戸

<直売所数と出荷農家戸数の推移>

(単位:カ所、戸)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
直売所数	18	18	19	19	19
出荷農家戸数	1,141	1,160	1,175	1,201	1,198

資料:福岡市政策企画課

※直売所は、福岡市内のJA及び生産者グループ直営の常設のみ

<JA関連直売所(市内)>

区	直売所・インショップ	開設
東(9)	エフコープ舞松原店	H15年
	イオン香椎浜店	H19.7
	JA 東部直売所 愛菜市場	H19.10
	エフコープ新宮店	H22.4
	サトー食糧館松島店	H22.6
	フードウェイアイランドアイ照葉店	H28.3
	マックスバリュ香椎店	H30.11
	海中街道 大岳	R2.9
	ダイレックス松島店	R4.5
南(2)	博多じょうもんさん花畑市場	H19.7
	博多じょうもんさん日佐市場	H22.7
早良(1)	博多じょうもんさん入部市場	H20.12
西(4)	博多じょうもんさん周船寺市場	H17.3
	博多じょうもんさん福重市場	H18.3
	イオン福岡伊都店	H18.4
	ハローディ周船寺店	H23.3

資料:福岡市農業協同組合、福岡市東部農業協同組合

<その他の直売所>

区	直売所	開設
博多(1)	味彩(立花寺緑地リフレッシュ農園内)	H15.9
南(1)	ぶどう畑	H11.7
早良(1)	フッキー主基の里	H14.4

資料:福岡市政策企画課

(7) 市内生産量と市民消費量の比較

- ・花きは他の品目に比べると高い比率を維持
- ・令和5年度は鳥インフルエンザ等の影響により、飼養羽数が減少したため、鶏卵の比率が大きく減少しているが、令和6年度は回復している。

＜市内産主要農畜産物の市民消費量（推計）に対する比率＞

(単位：%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (速報値)
野菜	7.0	7.4	7.4	7.7	7.3
果実	0.8	0.6	0.7	0.6	0.7
米	4.8	5.7	5.6	4.7	4.5
牛乳・乳製品	3.0	3.0	2.6	2.3	2.3
鶏卵	15.4	17.5	19.2	4.1	18.2
牛肉	3.1	3.1	1.4	1.1	1.1
花き	25.1	26.7	25.9	28.7	26.8

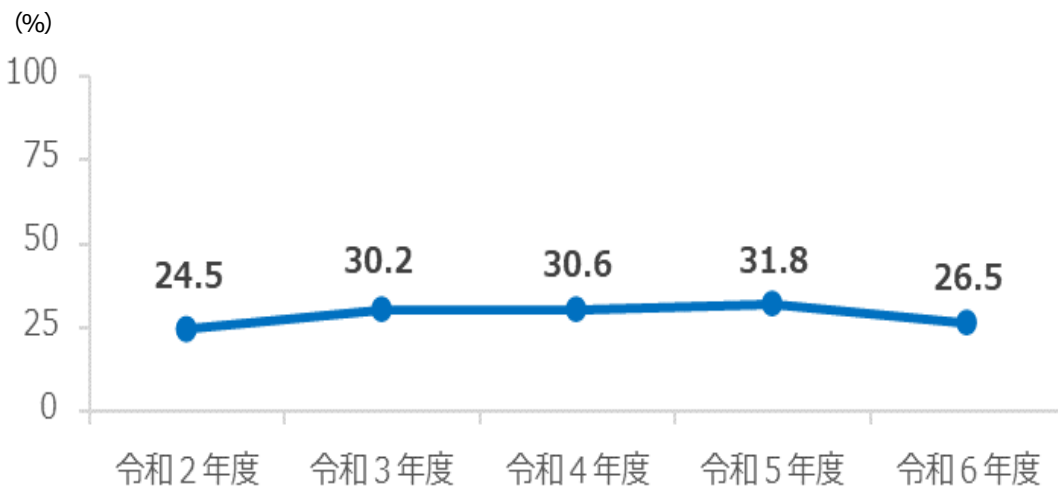
資料：福岡市農業政策課

(8) 学校給食における市内産農産物利用割合

- ・市内産農産物の割合は26.5%と減少

→天候の影響による不作などが要因

＜学校給食における市内産農産物利用割合の推移＞



資料：福岡市政策企画課

※小学校における主要18品目の重量ベース

春菊・大根・かつお菜・根深ねぎ・キャベツ・小松菜・ほうれん草・玉ねぎ・水菜・トマト・ブロッコリー・かぶ・かぼちゃ・グリーンアスパラ・なす・青ねぎ・アスパラ菜・にんじん

(9) 出荷前残留農薬検査

＜出荷前残留農薬検査数の推移＞

(単位：検体)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
野菜	73	72	77	76	70
米	10	—	—	—	—

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当

(10) 減農薬、減化学肥料栽培認定者

＜ふくおかエコ農産物認証制度認定件数の推移＞

(単位：件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ふくおかエコ農産物 認証制度認定件数	14	16	16	5	13

資料：福岡県

(11) 中山間地域等直接支払制度

- ・令和6年度の活動集落は16集落で、取組面積は84.7ha

<中山間地域等直接支払制度事業実績>

取組年度	活動組織 (地区数)	取組面積 (ha)	所在校区：活動集落
令和2年度 ～ 令和6年度	16	84.7	北崎：佐田、岩立、地頭給、八坂 脇山：栗池、志水1、舟引1、舟引2、谷口、 椎原1、椎原3、椎原4－1、 椎原4－3、椎原5 内野：西の中2、石釜

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当



【脇山校区の棚田】

(12) 多面的機能支払交付金制度

- ・令和6年度は、10地区で農地・農業用施設の保全管理等の共同活動に取り組んでおり、取組面積は191.14ha

<多面的機能支払交付金事業>

取組年度	活動組織 (地区数)	取組面積 (ha)	所在校区：活動集落
令和2年度 ～ 令和6年度	7	49.08	脇山：栗池1、舟引2、椎原3、椎原4-1 内野：西の中2、石釜 北崎：佐田
令和6年度 ～ 令和10年度	3	142.06	脇山：谷口、大城 元岡：元岡
計	10	191.14	

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当

<多面的機能支払交付金の構成>

農地維持支払交付金

多面的機能を支える共同活動を支援します。

※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押しします。

支援対象

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成 等

資源向上支払交付金

地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動を支援します。

支援対象

- ・水路、農道、ため池の軽微な補修
- ・外来種の駆除、ビオトープづくり
- ・施設の長寿命化のための活動 等

資料：農林水産省

(13) 環境保全型農業直接支払交付金制度

- ・活動組織は1団体（ＪＡ福岡市環境保全型農業推進協議会）で、取組面積は29.0ha

<環境保全型農業直接支払交付金事業>

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組み	緑肥の作付け 20人、20.1ha	緑肥の作付け 16人、16.0ha	緑肥の作付け 17人、15.7ha	緑肥の作付け 19人、18.2ha	緑肥の作付け 17人、17.0ha
	堆肥の施用 2人、4.1ha	堆肥の施用 2人、4.0ha	堆肥の施用 2人、4.2ha	堆肥の施用 2人、4.2ha	堆肥の施用 4人、6.8ha
	有機農業の取組み 2人、2.8ha	有機農業の取組み 2人、2.0ha	有機農業の取組み 3人、3.4ha	有機農業の取組み 4人、4.6ha	有機農業の取組み 5人、5.2ha
取組面積 (ha)	27.0	22.0	23.3	27.0	29.0

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当



【緑肥の作付け（レング）】

(14) 野生鳥獣による農作物被害、被害防止策

- ・令和6年度の被害額は侵入防止柵等の設置により約 2,900 万円で前年度比 2.3%減少、令和2年度と比べると 26.1%減少
- ・令和6年度の被害額のうち、イノシシ被害は約 1,900 万円で全体の 65.5%、鳥類被害は約 391 万円で 13.5%を占める

<有害鳥獣による農作物被害の推移>

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
被害額	39,215	37,237	33,620	29,676	28,997

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当

<福岡市鳥獣被害対策協議会における捕獲実績の推移>

(単位：頭 羽)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
イノシシ	2,438	2,081	1,748	1,133	1,827
シカ	－	－	2	2	8
サル	－	－	－	1	1
アライグマ	1	20	62	49	66
その他哺乳類	4	16	22	26	33
鳥類	1,674	918	702	1,150	1,199
合計	4,117	3,035	2,536	2,361	3,134

資料：福岡市農業振興・イノシシ等対策担当



【箱わな】



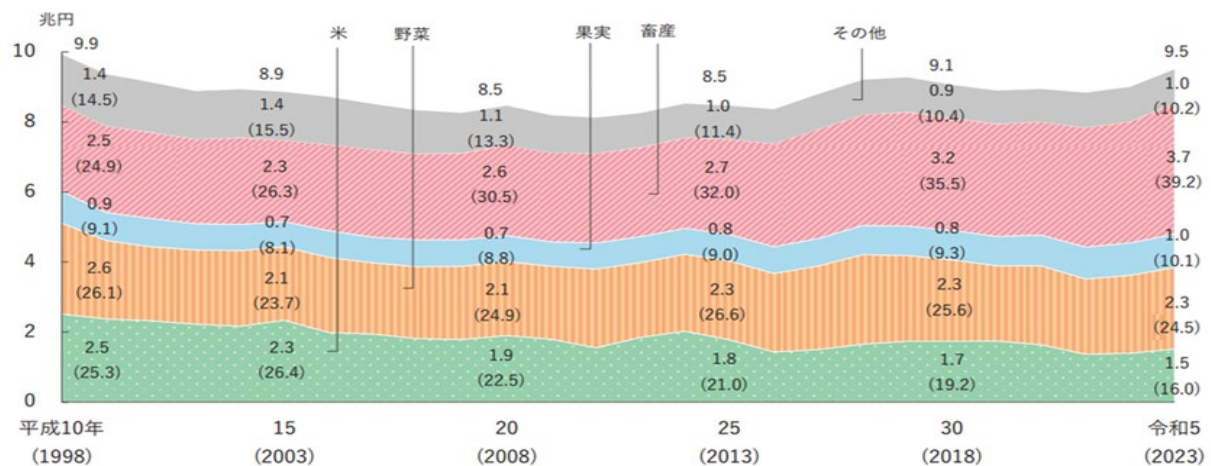
【ワイヤーメッシュ柵】

参考：国の情勢

(1) 農業総産出額

- ・農業総産出額は、近年、農畜産物における需要に応じた生産の取組みが進められてきたこと等により9兆円前後で推移しており、令和5年は耕種において米や野菜、畜産において鶏卵の価格が上昇したこと等から、前年と比べ5.5%増加し9兆4,987億円となった

<農業総産出額の推移>



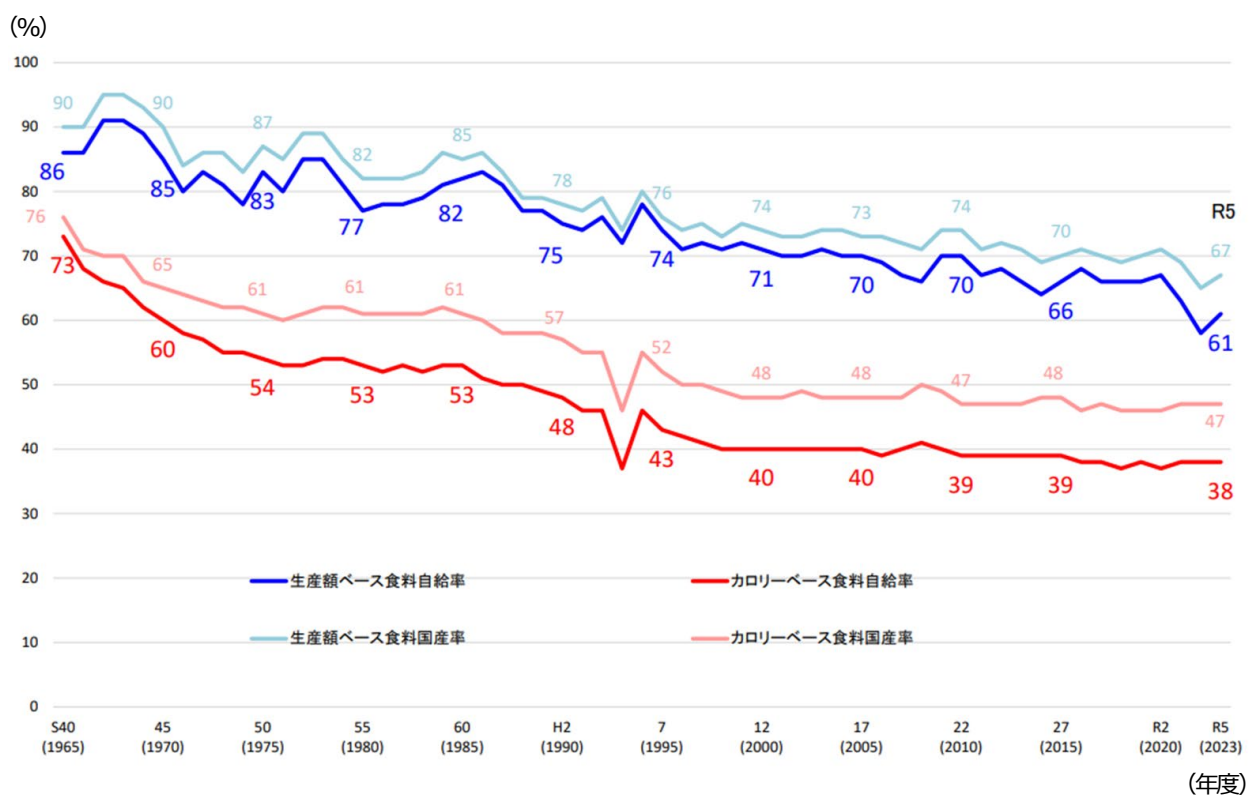
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

- 注：1) 農業総産出額とは、当該年に生産された農産物の生産量(自家消費分を含む。)から農業に再投入される種子、飼料等の中間生産物を控除した品目別生産量に、品目別農家庭先販売価格を乗じて推計したもの
 2) 「その他」は、麦類、雑穀、豆類、いも類、花き、工芸農作物、その他作物、加工農産物の合計
 3) ()内は、各年の農業総産出額に占める部門別の産出額の割合(%)

(2) 総合食料自給率

- ・カロリーベースの食料自給率については、令和5年度は小麦の生産量増加や油脂類の消費量減少がプラス要因となる一方で、てん菜の糖度低下による国産原料の製糖量の減少がマイナス要因となり、前年度並みの38%となった
- ・生産額ベースの食料自給率については、令和5年度は輸入された食料の量は前年度と同程度だったが、国際的な穀物価格や生産資材価格の水準が前年度と比較して落ち着き、輸入総額が前年度比で減少（特に、畜産物、油脂類（飼料、原料を含む））したこと等により、前年度比+3ポイントの61%となった

<総合食料自給率の推移>



資料：農林水産省

※生産額ベース：重量を金額に換算したうえで、各品目を足し上げて算出

※カロリーベース：重量を供給熱量に換算したうえで、各品目を足し上げて算出

(3) 学校給食における地場産物等活用状況及び米飯給食実施状況

- ・県における地場産物の活用状況は、51.8%で0.6%増（令和5年度51.2%）
- ・県における国産食材の活用状況は、85.9%で0.2%増（令和5年度85.7%）
- ・全国における令和5年度の米飯給食実施回数（は、週3.6回

＜学校給食における地場産物及び国産食材の使用割合＞

（単位：％）

区分（福岡県）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地場産物	—	52.1	51.9	51.2	51.8
国産食材	—	84.5	83.4	85.7	85.9

資料：文部科学省学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により調査中止

＜学校給食における米飯給食実施状況の推移＞

区分	平成27年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
学校数	29,925校	29,200校	29,553校	29,214校	28,900校
実施率	100%	100%	100%	100%	100%
実施回数（回/週）	3.4回	3.4回	3.5回	3.5回	3.6回

資料：文部科学省米飯給食実施状況調査

※完全給食を実施する国公立小・中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校全数調査

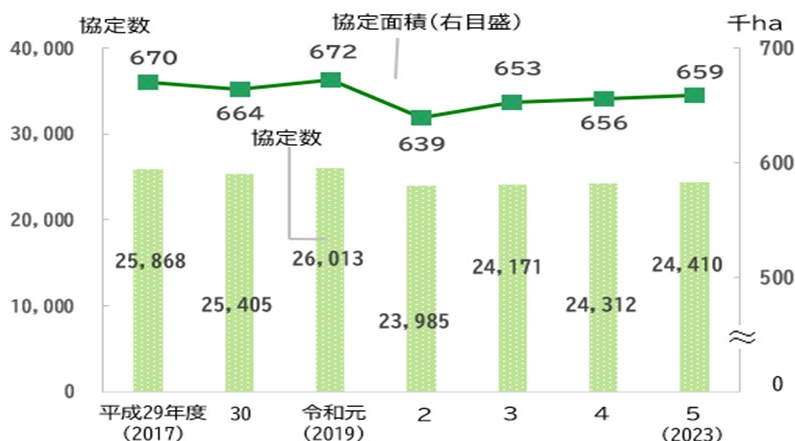
※調査については隔年（平成28年度までは毎年実施）

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により調査中止

(4) 中山間地域等直接支払制度

- ・令和5年度の中山間地域等直接支払制度の協定数は、2万4,410協定で前年度から98協定増加、協定面積は65万9,000haで前年度と比べ3,000ha増加

＜中山間地域等直接支払制度の協定数及び交付面積＞



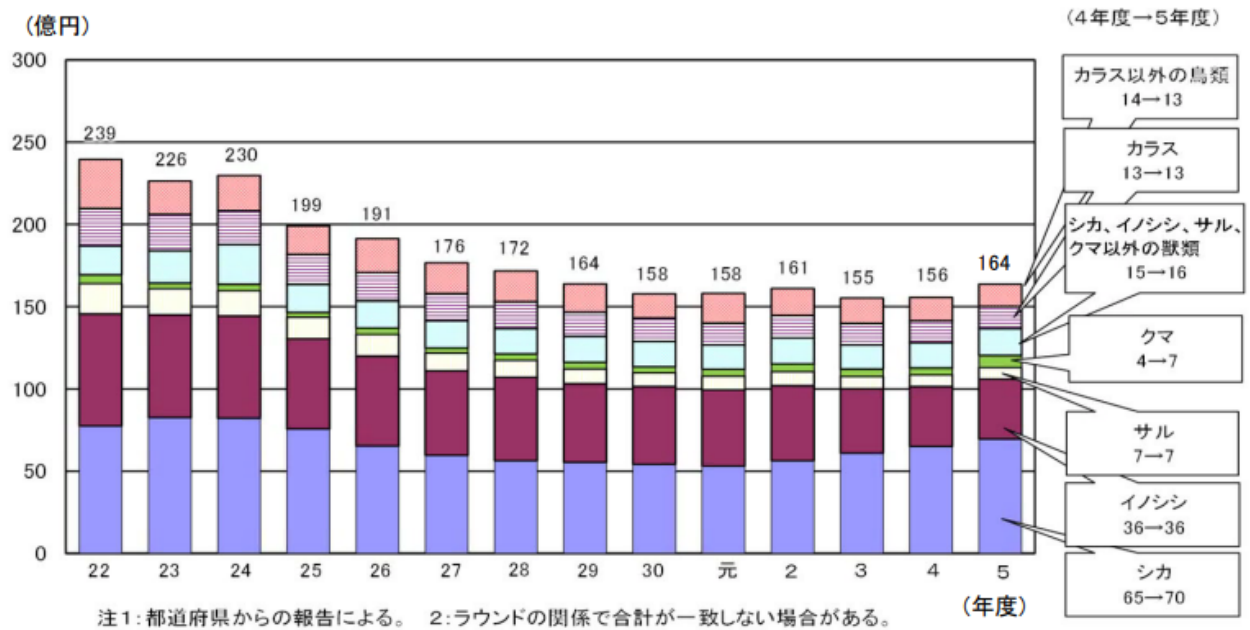
資料：農林水産省「中山間地域等直接支払交付金の実施状況」を基に作成

※協定面積は、協定の対象となる農用地の面積

(5) 野生鳥獣による農作物被害、被害防止策

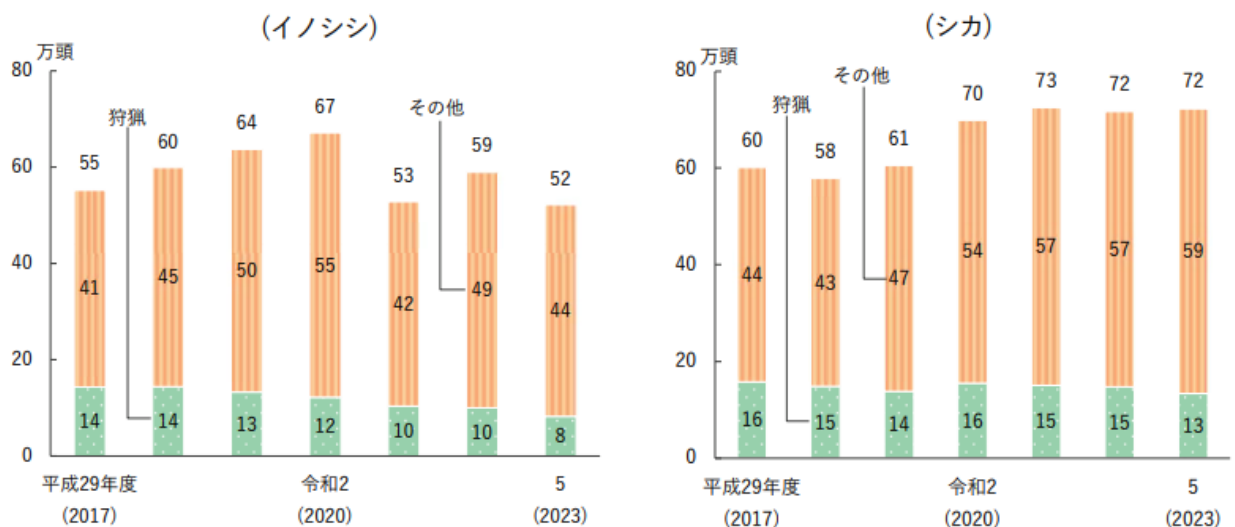
- ・令和5年度の野生鳥獣による農作物被害額は164億円で、シカ、イノシシ、サルによる被害が約7割を占める
- ・令和6年4月末時点で被害防止計画を策定した市町村は、1,518市町村
鳥獣被害対策実施隊設置市町村数は、1,256市町村と増加

＜野生鳥獣による農作物被害額の推移＞



資料: 農林水産省

＜シカとイノシシの捕獲頭数の推移＞



市民の農への理解促進

(1) 市民農園

- ・令和6年度時点の開設数は29、区画数は1,810で前年度と比べ79区画の増加

<市民農園等の設置状況の推移>

(単位：カ所、区画)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開設数	24	24	25	26	29
区画数	1,686	1,466	1,569	1,731	1,810

資料：福岡市政策企画課

<福岡市内の市民農園等（令和7年3月現在）>

設置者	設置数	内訳
福岡市	3	今津リフレッシュ農園 立花寺緑地リフレッシュ農園 かなたけの里公園
農家	26	福岡市市民農園（2） JAファーム貸し農園（11） 農業体験農園（2） 志賀島貸農園（1） その他の市民農園（10）



【今津リフレッシュ農園】

資料：福岡市政策企画課

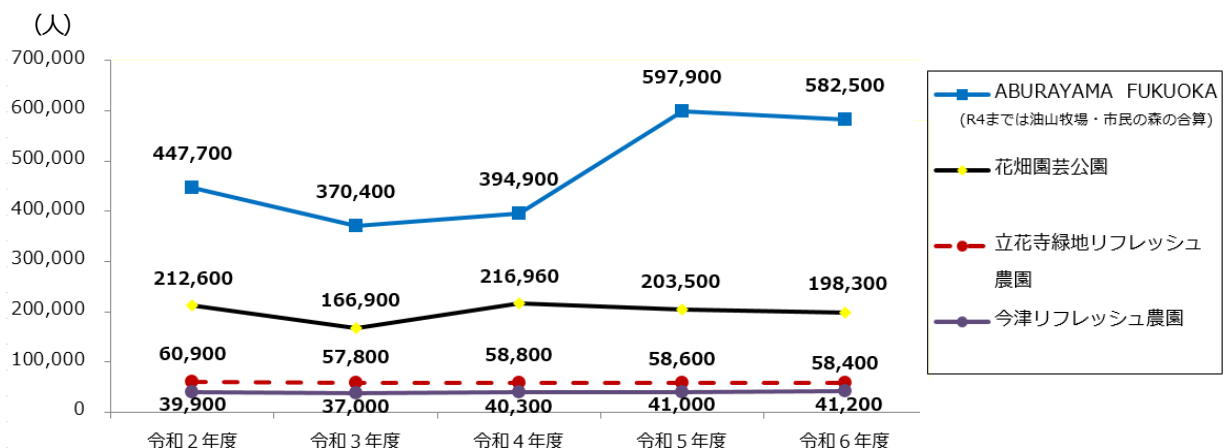
(2) ふれあい施設

- ・令和6年度の入場者数は、前年度並みの88万人

<ふれあい施設の入場者数の推移>

(単位：千人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数(推計値)	761	632	711	901	880



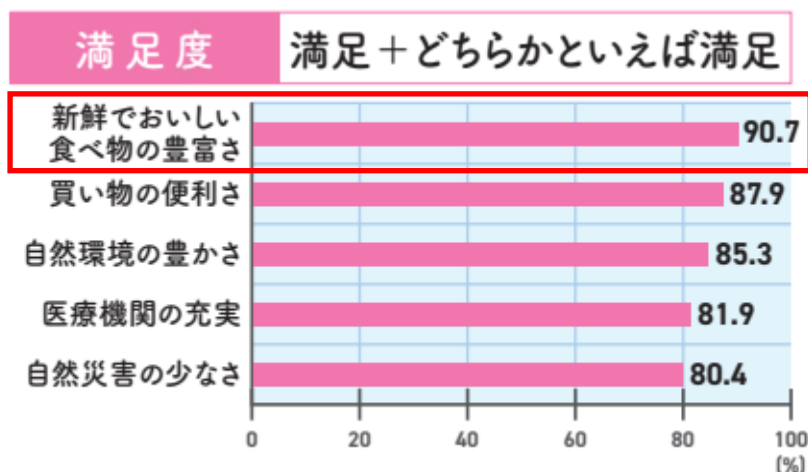
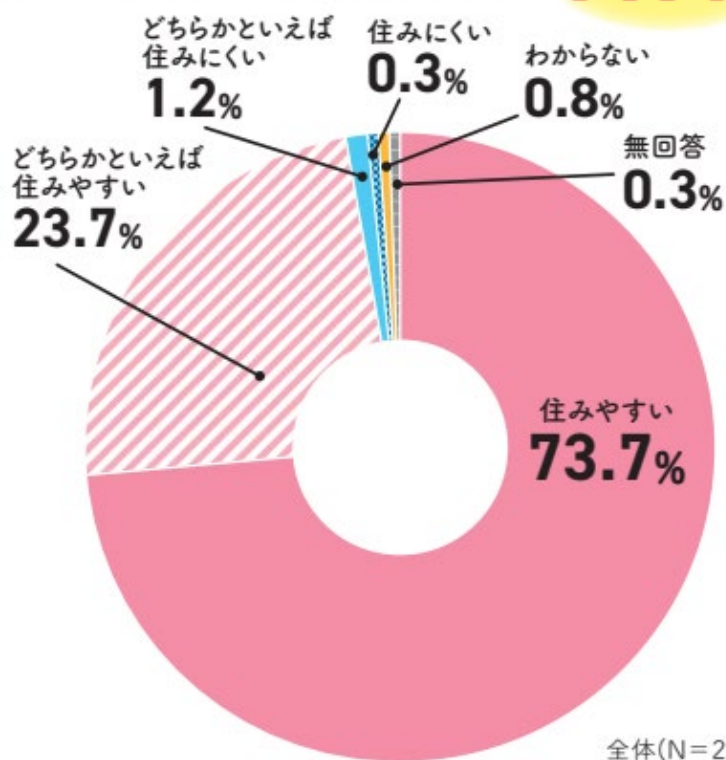
(3) 福岡市の農林水産業に対する市民の意識

- ・令和6年度の「市政に関する意識調査」において、市民の97.4%が「福岡市は住みやすい」と答え、満足度については、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が90.7%で全18項目中第1位

<市政に関する意識調査（令和6年度）>

福岡市は住みやすいと思いますか？

『住みやすい』と答えた人は **97.4%**

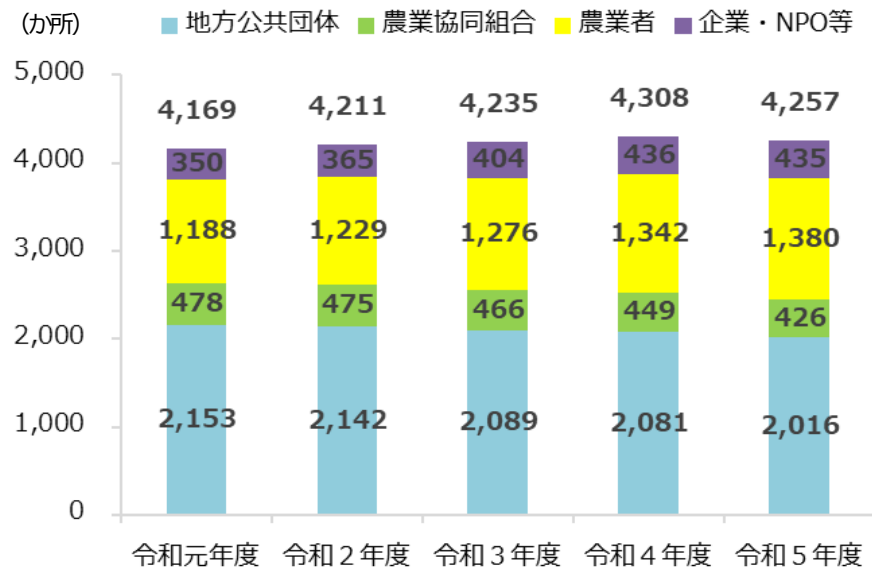


参考：国の情勢

(1) 市民農園

- ・市民農園数は、市町村主体で開設された市民農園は減少傾向にあるが、農業者が開設した農園は増加

＜市民農園の開設数の推移＞



資料：農林水産省

※「特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律」「市民農園整備促進法」に基づき開設されたもの

第2 令和6年度の取組み

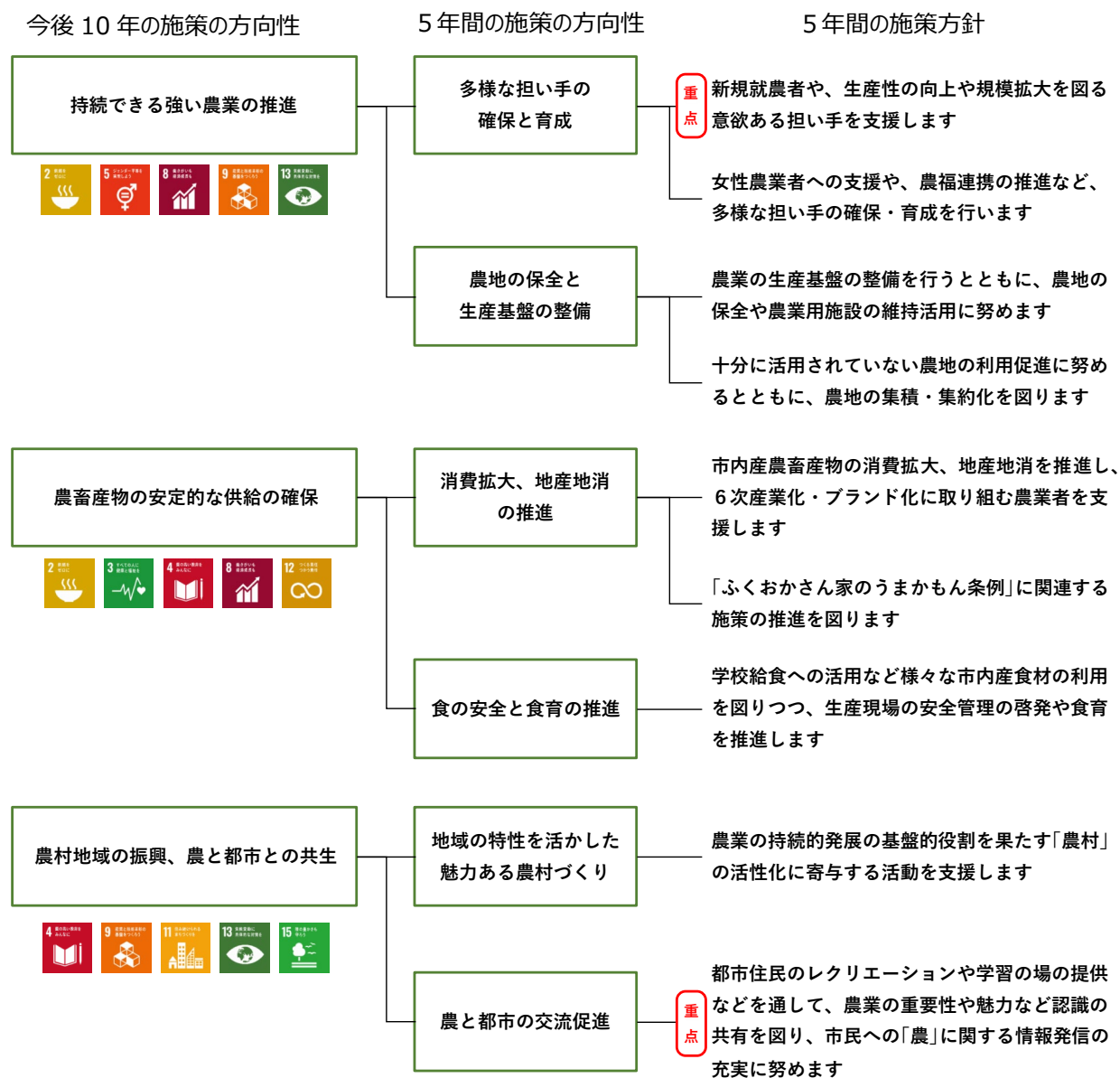
農林業総合計画における施策の体系（農業）

都市部と自然豊かな地域とが近接した都市構造であり、身近なところで農業が営まれている特性を活かし、30年後の「福岡市の農業が目指す姿」として、『食べ物おいしいまちを支え、農とともにある豊かな暮らしをつくる』を長期的な目標に掲げ、その将来像実現のため施策に取り組んでいる

<施策の体系>

【長期的な目標（30年後）】 食べ物おいしいまちを支え、農とともにある豊かな暮らしをつくる

【目標（5年間）】 意欲ある担い手への支援・育成と、農業の魅力発信による農村地域の活性化



1 持続できる強い農業の推進

多様な担い手の確保と育成を行うとともに、農業の生産基盤を整備し、農地の保全や農業用施設の維持活用を図った

また、価格保証制度や地域資源活用への支援、イノシシ等の鳥獣被害対策などにより、経営の安定を図った

(1) 多様な担い手の確保と育成

新規就農者や、生産性の向上・規模拡大を図る意欲ある担い手を「次代の担い手」として支援するとともに、女性農業者への支援や、農福連携の推進など、多様な担い手の確保・育成を行った

また、AI・IoT など先端技術の開発・活用の支援や作業の効率化・省力化の促進により、農業経営のさらなる規模拡大と担い手による農地の保全を推進した

① 就農応援事業

就農相談・支援対応

就農希望者に対する相談対応（162 件）や、関係機関とともに新規就農者のほ場を巡回訪問（延べ 97 経営体）し、営農状況の確認とともに経営安定に向けた助言等を実施

アグリチャレンジ（農業研修）

野菜の栽培・出荷等を学ぶ基礎研修及び農家から直接指導を受けるインターンシップにより、就農に向けた技術習得等を支援

また、農福連携の推進に向けて、福祉事業所において農業の基礎的知識等を習得した職員を育成するため、農業基礎研修に福祉事業所職員も受け入れ

- ・研修受講者 28 人（うち福祉事業所職員 4 人）



【研修の様子】

農の応援

人手を求める農家と農業に従事したい市民をマッチングし雇用に結び付け、農家の人手不足の解消、生産拡大を支援

- ・マッチング数 延べ 67 人

② 新規就農者育成総合対策

独立・自営就農する認定新規就農者に対する支援

- ・ 経営発展のために必要な農業用機械・施設等の導入に係る助成（交付件数 4 件）
- ・ 就農直後の経営確立を支援する経営開始資金等の交付（交付件数 24 件）

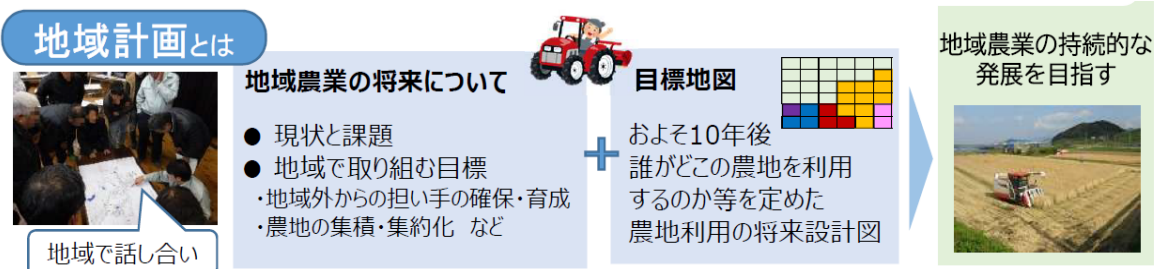
③ 新規就農スタートアップ支援事業

新規就農の際に必要な農業用機械・施設の導入に係る助成

- ・ 交付件数 9 件

④ 地域計画（人・農地プラン）推進事業

- ・ 令和 5 年度 人・農地プラン策定地区（13 地区※）において制度説明会を実施
※①志賀 ②花畑 ③入部 ④脇山 ⑤内野 ⑥金武 ⑦吉岐 ⑧能古
⑨今宿 ⑩今津 ⑪周船寺 ⑫元岡 ⑬北崎
- ・ 令和 6 年度 10 地区（志賀、入部、脇山、内野、金武、今宿、今津、周船寺、元岡、北崎）において、意向調査・地域協議を実施し、地域計画を策定



【地域協議の様子】

⑤ アグリDXプロジェクト（スマート農業推進）

生産現場の課題解決に資するスマート農業技術について実証実験を実施し、効果を検証するとともに、市内産地での活用が見込める技術の情報発信を行うなど、スマート農業の普及拡大に向けた取組みを推進

- ・実証実験の実施 4件

→プラズマ照射種子（春菊、ネギ）による夏場の生育不良対策の検証

ラジコン草刈機の実演による効果の検証

「e-kakashi」を活用した環境データ、生育記録、作業履歴などのデータ収集

ドローンによる果樹園でのデータ計測検証



【ラジコン草刈機】



【e-kakashi】

- ・防除履歴システム使用料の助成 75件

⑥ スマート農業チャレンジ農園

農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングプロジェクトを開始

市内生産者とのマッチングプログラム

参加企業 22 社のうち、4 社で生産者とのマッチングが成立し、生産者の圃場で実証実験を実施

チャレンジ農園プログラム

3 社（CarbonXtract（株）、（株）アイナックシステム、SACMOT s）が採択され、今津リフレッシュ農園に実験用のハウスや露地を整備し、実証フィールドとして提供



【マッチングイベントの様子】



【プログラム採択式】

⑦ 未来へつなげる農村の担い手支援事業

作業受託や集落営農などに取り組む農村の担い手に対して、営農継続と生産性向上に資する機械購入を支援

・交付件数 15 件

内訳：トラクター 7 件、田植機 4 件、ドローン 2 件、コンバイン 1 件、
ラジコン草刈機 1 件



⑧ 農福連携推進事業

農地の適正管理、農業生産の拡大及び障がい者の活躍の場を創出するため、福祉事業所職員を対象とした農業研修（受講者 4 人）を実施するとともに、更なる取組みの拡大に向けて市内農家の取組み事例を PR する動画を制作



【障がいのある方が枝豆選別作業に取り組む様子】



【事例紹介動画】

⑨ 女性農業者育成事業

農業経営に積極的に取り組んでいる女性農業者のもとで、農業技術や経営、加工品の開発に関することなどを直接学ぶインターンシップ等を実施

・インターンシップ受講者 8 人

⑩ 青年農業者連携促進事業

市内の 20～30 代を中心とした若手農業者の組織である「福岡市青年農業者連絡会」の自主的な活動について、中核的農業者としての更なる発展と、市内農業の PR 活動等を支援

(2) 農地の保全と生産基盤の整備

農業の生産基盤の整備を行い、農地の保全や農業用施設の維持活用に努めた

また、価格保証制度や地域資源活用への支援、鳥獣被害対策などにより、経営の安定を図った

さらに、十分に活用されない農地の利用促進等を図った

① 園芸産地育成事業

高品質農産物の生産基盤の確立等を目的とした県補助を活用したハウス施設整備等への助成

・受益戸数 23 戸

栽培品目：イチゴ、軟弱野菜、ブドウ、花き、青ねぎ、アスパラガス



【補助を活用した省力栽培温室】

② 野菜・花き生産安定事業

市内産野菜・花きの価格保証制度は、野菜 7 品目 771 t、花き 5 品目 1,316 千本を対象に実施

<野菜・花き生産安定事業実施実績(令和 6 年度)>

(単位：t、千本、千円)

対象品目	数量	交付額
ほうれんそう	50	0
しゅんぎく	378	0
ブロッコリー	102	11
はねぎ	38	0
こまつな	192	0
こな	3	0
かつお菜	—	—
みずな	8	0
野菜計	771	11

対象品目	数量	交付額
菊	200	24
ストック	532	1,209
トルコギキョウ	215	0
ガーベラ	270	0
金魚草	99	0
花き計	1,316	1,233

交付額合計(野菜+花き)	1,244
--------------	-------

③ 畜産環境整備経営対策事業

畜産農家の設備や家畜の導入等に対する支援

- ・設備導入戸数 1戸（ふん尿処理設備（固液分離機））

④ 地域資源活用型農業チャレンジ事業

農畜産業における地域資源活用へのチャレンジを支援することにより、国際市況等の影響を受けにくい農業への転換を促進

- ・市内産再生リンを活用した肥料（e・green）の販売を行う事業者に対して値引き費用の一部を支援
販売実績 285人、2,258袋
- ・耕畜連携の推進 1件
- ・畜産農家により生産された飼料購入支援 1戸

⑤ 有機農業推進事業

農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備として、研修会や有機農産物のPR活動などを実施

- ・有機農業に関する研修会 6回
- ・先進地事例調査 1箇所
- ・有機農産物のPR活動 3回



【有機農業に関する研修会の様子】

⑥ 農業用施設の整備等

ため池や井堰等農業用施設の老朽化等に伴う被害の未然防止、農業経営の安定のため、整備の緊急性の高い農業用施設の改良を行った

- ・ため池 20箇所
- ・農道 12箇所
- ・井堰 52箇所
- ・水路 16箇所 等

⑦ 防災重点農業用ため池対策事業

防災重点農業用ため池の安全性向上のため、緊急時の迅速な避難行動につなげるため池ハザードマップの作成などのソフト対策や、ため池機能の適切な維持、補強に向けた対策として、洪水吐の改良などのハード対策を実施

- ・ハザードマップ作成 21 箇所
- ・水位監視システム設置 6 箇所
- ・洪水吐改良工事 2 箇所
- ・ため池の耐震評価 2 箇所 等

⑧ 耕作放棄地再生事業

耕作放棄地を借り受ける農業者等が行う農地再生等経費への助成

- ・交付件数 2 件 78a



【再生前】



【再生後】

⑨ 鳥獣害防止総合対策事業

国庫補助を活用し、有害鳥獣に対する捕獲報奨金の支給、侵入防止柵の設置にかかる費用助成、有害鳥獣の捕獲・防除に関する機材の支援、有害鳥獣捕獲活動経費への支援などを実施

- ・小動物用箱わな 40 基
- ・ワイヤーメッシュ柵 約 9.6km
- ・電気柵 92 台 約 25.2km

⑩ イノシシ被害対策事業

捕獲イノシシに対する市独自の捕獲報奨金の上乗せ支給、ICT・IoT を活用した捕獲活動の効率化、侵入防止柵の設置・補修・補強にかかる費用助成、地域主体で実施する生息環境管理に関する取組みの支援などを実施

- ・イノシシ用箱わな 45 基
- ・侵入防止柵強化等支援事業 11 件
- ・地域ぐるみの生息環境管理支援事業 2 地域（早良区脇山、西区北崎）

2 農畜産物の安定的な供給の確保

市内産農水産物の学校給食等での活用による消費拡大・地産地消を推進するとともに、食の安全・安心に向けて生産現場における安全管理の啓発や食育を推進した

また、市内産農水産物の特性を活かし、ブランド化に向けて取り組んだ

(1) 消費拡大、地産地消の推進

学校給食への活用や農水産物の魅力発信等による市内産農水産物の消費拡大に取り組むとともに、体験事業の実施を通じた農業・漁業への理解促進を図り、地産地消及び食育を推進した

① 農畜産物消費拡大推進事業

市内産農畜産物の消費拡大と地産地消を推進するため、消費者と生産者との交流や市内大学による食育講座などを実施

- ・食と農の体験教室 4回 69人
- ・学童菜園事業 小学校 10校 計 598人



【食と農の体験教室】



【学童菜園事業】

- ・酪農体験教室 1回
- ・花育体験教室 小中学校 10校 計 463人



【酪農体験教室】



【花育体験教室】

- ・学校給食における市内産農産物の利用割合 野菜：26.5%※

※小学校における主要 18 品目重量ベース

② 次代へつなぐ地産地消推進事業

将来にわたっての地産地消を推進するため、市内産農水産物を学校給食に提供するとともに、生産者による講話や、P R動画の活用を通じ、市内産農水産物の魅力を発信

- ・提供品目：博多和牛、まだい、あまおう、飲むヨーグルト



【生産者の講話（博多和牛、まだい）】



【PR 動画】



【広報物】

③ 農産物の安全・安心推進事業（G A P 認証取得支援事業）

福岡県G A P 認証取得に取り組む農業者に対して、残留農薬の分析費用や施設の改修資材の導入経費等を助成

- ・栽培品目 甘夏、大根、ブロッコリー、にんじん
- ・受益戸数 8戸

(2) 食の安全と食育の推進

学校給食への活用など様々な市内産食材の利用を図りつつ、生産現場の安全管理の啓発や食育を推進した

また、市内産農水産物の特性を活かしたブランド化や、「ふくおかさん家のうまかもん条例」に関連する施策の推進を図った

① 「ふくおかさん家のうまかもん」つながるプロジェクト

ふくおかさん家のうまかもん（＝市内産農林水産物及びその加工食品等）の認知度向上や利用促進に向け、情報誌（年刊誌・月刊誌）や HP 等を活用し、他の事業と一体的に情報発信等を実施

- ・ 認定事業者数 793 件（令和 7 年 3 月末現在）



【情報誌を活用した情報発信】

② 農産物ブランド創出・販路拡大事業

市内産農産物の加工品開発や販路拡大を希望する農業者等に対し、開発や継続的な販売に係る専門家によるアドバイスや補助金交付などを実施

商品開発支援

これまでに 43 商品について開発・販売

- ・ 開発支援実績 「麦ストロー」、「野菜ピューレ」、「漬物」

販売促進等

- ・ 博多駅前イベントスペースでの加工品販売・P R イベント実施による販売促進支援



【加工品開発支援】



【付加価値向上支援】
（商標登録支援など）



【イベントによる販路開拓】

市内産農産物ポテンシャル調査

市内産農産物などが持つ特性やストーリーを活かしたブランド創出の検討を行った

- ・市内産農産物の基礎調査、消費者アンケート調査、ストーリーの発信
- ・市内飲食店における市内産農産物を使用した限定メニューの提供



【限定メニューの提供】

※使用品目：「元岡トマト」、「博多かぶ」、「箱崎小町（青ねぎ）」、「博多ブロッコリー」、「博多しゅんぎく」、「北崎大根」、「和白ねぎ」

③ アグリビジネスツアー事業

市内産農産物の消費拡大に向け、飲食店等を対象とした生産地見学ツアーを実施するとともに、市内産農産物の認知度向上に向けて情報誌で発信した

- ・産地見学ツアーの開催 8社・延べ27回実施
- ・飲食店等を通じたPR テレビ放送、情報誌掲載 等



【産地見学ツアーの開催】



【飲食店等を通じたPR】

④ 食関連産業チャレンジ促進事業

食関連産業に関する新たなチャレンジを促進し、農林水産業の振興につなげることを目的に、食関連事業者によるワークショップの開催や新たなチャレンジへの支援を実施

- ・食関連事業者によるワークショップ開催 3回
- ・新たなチャレンジの実証及び研究支援 16件 等

3 農村地域の振興、農と都市との共生

農山漁村地域の特性を活かした農林水産業の振興を図り、持続可能な農山漁村地域づくりに取り組んだ

また、農業の重要性や魅力など認識の共有を図り、市民への「農」に関する情報発信の充実に努め、農と都市との交流を促進した

(1) 地域の特性を活かした魅力ある農村づくり

農山漁村地域における特性や地域資源を活用した民間のチャレンジを支援するなど、農林水産業の振興に取り組んだ

① 農山漁村地域における農林水産業の振興事業

志賀島と北崎地区において、地域の特性や資源を活用した新たな農林水産関連ビジネスの自走、定着に向けた支援を実施

- ・ 志賀島における農産物等直売（勝馬ルシェ）の支援
- ・ 北崎地区における特産品（海中熟成酒）製造の支援



【志賀島における農産物等直売（勝馬ルシェ）】



【北崎地区における特産品（海中熟成酒）製造】

（２）農と都市の交流促進

農と都市との交流促進を通して、農業の重要性や魅力など認識の共有を図るとともに、市民への「農」に関する情報発信の充実に努めた

① 市民農園拡大推進事業

身近に農業体験ができる場を市民に提供するため、農家の市民農園開設に向けた施設整備を助成

- ・ 交付件数 なし

② ふれあい施設の管理・運営、施設整備

農業に対する市民の理解を深めることを目的として、ふれあい施設を設置し、管理・運営及び施設整備を実施

- ・ ふれあい施設 6箇所

油山市民の森、油山・背振牧場、花畑園芸公園、今津・立花寺緑地リフレッシュ農園

- ・ ふれあい施設の整備工事 7件



【花畑園芸公園】



【ABURAYAMA FUKUOKA】

（３）農山漁村地域における快適な生活環境の確保

集落排水処理施設の管理・運営を適切に行い、農業集落及び漁業集落における快適な生活環境を確保した

① 集落排水処理施設の管理・運営

- ・ 農業集落排水処理施設 6地区

西浦、勝馬、曲渕、宮浦、小田、草場

- ・ 漁業集落排水処理施設 5地区

弘、西浦、宮浦、玄界島、小呂島



【小田処理場】

4 目標項目の進捗状況（農業）

【多様な担い手の確保と育成】

①新規就農者数

（単位：人）

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
新規就農者数	28	47	64	89	118	178

※福岡市農林水産局調査

※新たに農業経営を開始したもの（農家の子弟継承及び見込の者を含む）

②スマート農業の導入数

（単位：件）

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
導入数	12	14	21	28	46	36

※新たにスマート農業を取り入れた件数（福岡市が把握した人数）

③ECを活用し販路拡大に取り組んだ農業者数

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度 (初期値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
農業者数	—	10	19	20	22	30

※新たにEC（電子商取引）を取り入れ販路拡大に取り組んだ農業者数（福岡市が把握した人数）

④女性農業者の割合

（単位：％）

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
女性農業者の割合	38.8	40.1	41.1	40.8	42.5	42.7

※福岡市農業協同組合の正組合員数における女性の割合

⑤農福連携「農」×「福」マッチング数

（単位：件）

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
マッチング数	1	3	5	7	7	7

※福祉事業所等により取り組まれた件数（福岡市が把握した件数）

【農地の保全と生産基盤の整備】

⑥農業生産額

(単位：百万円)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
総生産額	5,940	6,250	6,828	5,814	7,349	6,855

※福岡市農林水産局調査

※野菜、果樹、花き、米、畜産、その他の合計

※野菜、果樹、花きについては、卸売市場（市内及び市外）での取扱金額を基に、各年の国産青果物の

卸売市場経由率（74～79％）から算定したもので、加工、自家消費等は含まない

ただし、米については、需給調整による作付面積（実績値）を基に算定した生産量に販売単価を乗じて

算定したもので、自家消費等を含む

⑦生産緑地指定面積

(単位：ha)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
指定面積	2.5	2.5	2.74	2.74	2.74	2.8

※福岡市農林水産局調査

⑧中心的な担い手への農地集積

(単位：ha)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
集積面積	502.7	472.8	476.6	480.0	490.5	562.7

※福岡市農林水産局調査

※認定農業者などの担い手に対して農地を集積した面積（農地利用集積累計値）

⑨耕作放棄地面積

(単位：ha)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
耕作放棄地面積	338	328	317	321	321	325

※福岡市農林水産局調査

【消費拡大、地産地消の推進】

⑩市内産農畜産物を使用した加工品開発

(単位：品)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (累計目標値)
開発商品数	39	39	40	42	44	51

※福岡市農林水産局調査

※農産物ブランド創出・販路拡大事業等により開発・販売した加工品

⑪うまかもん認定店における市内産農林水産物の使用が増えた認定店の割合

(単位：%)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
使用割合	19	18	30	34	90	90

※福岡市農林水産局調査

※使用割合が増えた認定店舗率

【食の安全と食育の推進】

⑫学校給食への市内産農産物利用割合

(単位：%)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
野菜	24.5	30.2	30.6	31.8	26.5	32.4

※福岡市農林水産局調査

※小学校における主要18品目の重量ベース

【地域の特性を活かした魅力ある農村づくり】

⑬農業所得金額

(単位：千円)

	令和2年度 (初期値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (現状値)	令和8年度 (目標値)
農業所得金額	3,308	3,376	3,671	4,136	4,310	3,800

※「福岡市農家所得調査」における専業農家の平均値

※数値は調査年度ベース

【農と都市の交流促進】

⑭過去３年間に農業と身近に接した経験がある市民の割合

(単位：％)

	令和２年度 (初期値)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度 (現状値)	令和８年度 (目標値)
市民の割合	59.4	—	62.9	61.7	59.0	67.0

※「市政に関する意識調査」、「市政アンケート調査」に基づく数値

⑮ふれあい施設の利用者数

(単位：人)

	令和２年度 (初期値)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度 (現状値)	令和８年度 (目標値)
利用者数	313,400	261,700	316,100	303,100	297,900	387,800

※福岡市農林水産局調査

※花畑園芸公園、市民リフレッシュ農園

⑯福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合

(単位：％)

	令和２年度 (初期値)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度 (現状値)	令和８年度 (目標値)
市民の割合	73.7	74.7	75.0	77.5	78.7	85.0 以上

※「基本計画の成果指標に関する意識調査」に基づく数値

第3 令和7年度の取組み（農業・林業）

1 予算と重要施策

【予算】

区分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	差引増減額 (A - B)	対前年比 (A / B)
農林業予算計	45億 621万円	42億9,919万円	2億 702万円	104.8%
うち農林業重要施策	33億2,065万円	30億5,117万円	2億6,948万円	108.8%
農業	28億7,801万円	26億4,514万円	2億3,287万円	108.8%
林業	4億4,264万円	4億 603万円	3,661万円	109.0%

【重要施策】

重 要 施 策	令和7年度	令和6年度
1. 福岡市農林業・水産業総合計画の推進	503万円	224万円
2. 持続できる強い農業の推進	20億3,810万円	19億2,983万円
3. 豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進	4億4,264万円	4億 603万円
4. 農水産物の消費拡大及びブランド化の推進	1億6,128万円	1億4,569万円
5. 農山漁村地域の振興及び都市との交流促進	6億7,360万円	5億6,738万円

2 重要施策における主な事業

1. 福岡市農林業総合計画の推進

持続可能な農林水産業の確立と農林水産業の有する多面的機能の発揮を目指し、農林業総合計画に基づく施策を推進する。

また、次期計画の策定に向け、農林業振興審議会を開催する。

農林業総合計画推進事業 【503万円】（農業政策課・森づくり推進課）

次期計画の策定に向けた農林業振興審議会の開催等

2. 持続できる強い農業の推進

多様な担い手の確保と育成を行うとともに、農業の生産基盤を整備し、農地の保全や農業用施設の活用を図る。

また、価格保証制度や地域資源活用への支援、イノシシ等の鳥獣被害対策などにより、経営の安定を図る。

(1)多様な担い手の確保と育成

拡充

就農応援事業 【490万円】（農業政策課）

就農希望者への相談対応や、農業研修（休日コースを新たに西エリアに開講）等を実施

新規就農者育成総合対策 【8,422万円】（農業政策課）

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者を対象に、国事業を活用した支援を実施

新規就農スタートアップ支援事業 【550万円】（農業政策課）

新規就農者に対して、農業用機械・施設の取得経費を助成

地域計画推進事業 【821万円】（農業政策課）

地域の農業のあり方を定めた地域計画に基づき取組みを促進

アグリDXプロジェクト（スマート農業推進） 【430万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

新たに除草作業の負担軽減への取組など、スマート農業の普及拡大のための実証実験等を実施

スマート農業マッチングプロジェクト 【334万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

市内農家のニーズとスマート農業企業とのマッチング、新技術の開発にチャレンジする事業者の実証実験を支援

拡充

未来へつなげる農村の担い手支援事業 【1,700万円】(農業振興・イノシシ等対策担当)

拡充

農福連携推進事業 【368万円】（農業政策課）

福祉事業所職員への農業研修や農業者と福祉事業所とのマッチング、連携のための農業資機材費等を助成

女性農業者育成事業 【114万円】（農業政策課）

女性農業者の育成を目的に農業技術や経営に関する研修等を実施

青年農業者連携促進事業 【39万円】（農業政策課）

市内の若手農業者で組織されている福岡市青年農業者連絡会の活動を支援

- 意欲ある担い手に対して、営農継続に必要なトラクターなどの大型機械や生産性向上に資するドローンなどのスマート機械等の導入を支援



＜営農継続支援＞

- ・トラクター
- ・田植機・コンバイン



＜生産性向上支援＞

- ・農業用ドローン
- ・ラジコン草刈機 など



- ・中心的担い手への農地集積
- ・遊休農地の未然防止



**未来へつなげる
持続可能な
農村づくりを促進**

（参考）

物価高騰対策（2月補正）

- ・飼料高騰緊急対策事業 【1,233万円】 （農業振興・イノシシ等対策担当）
飼料代上昇分の一部を補助
- ・酪農後継牛育成支援事業 【350万円】 （農業振興・イノシシ等対策担当）
乳用子牛育成経費上昇分の一部を補助

(2)農地の保全と生産基盤の整備

拡充

園芸産地育成事業【1億2,570万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

野菜・花き生産安定事業【781万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

市内産野菜・花きの価格保証制度

畜産環境整備経営対策事業【5,146万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

飼養施設整備や畜舎改造、優良家畜の導入等の支援

地域資源活用型農業チャレンジ事業【594万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

地域資源を活用した肥料の利用拡大や飼料生産の取組みを支援

有機農業推進事業【380万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備として、研修会や有機農産物のPR活動などを実施

農業用施設の整備等【4億8,310万円】（農業施設課）

ため池、井堰、水路、農道等の農業用施設の老朽化に伴う保全工事等を実施

防災重点農業用ため池対策事業【3億9,920万円】（農業施設課）

防災重点農業用ため池の安全性向上のための耐震調査や水位計の設置、ハザードマップの作成

耕作放棄地再生事業【109万円】（農業政策課）

耕作放棄地を借り受ける農業者等が行う農地再生等経費への助成

新規

農地活用促進プロジェクト【834万円】（農業政策課）

鳥獣害防止総合対策事業【343万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

農作物被害防止のための鳥獣捕獲活動経費の助成等

イノシシ被害対策事業【5,325万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）

【拡充】園芸産地育成事業（1億2,570万円）

【農業振興・イノシシ等対策担当】

➤園芸作物の生産基盤の確立や、環境負荷低減の取組みを推進するため、ハウス施設の新設に加え
新たに長寿命化等を支援



○経営の安定化
・ハウスなどの施設の新設、
長寿命化



○栽培作業の省力化・効率化
・イチゴの高設育苗施設
・自動換気装置 など

活力ある
農業経営の確立と
産地機能の強化



【新規】農地活用促進プロジェクト（834万円）

【農業政策課】

➤ 農地の保全、関係人口の増加による農村地域の活性化を図るため、**企業・団体等による農地の活用に向けた実証実験を実施**

活用促進に向けた取組み

・フィールド調査

遊休農地のうち活用可能な農地を調査



・実証実験を実施

民間事業者の多様なアイデアを募集し、遊休農地等での実証実験を実施



（実証実験のイメージ）

企業・団体等による新たな農園活用
の実証

- ・企業の福利厚生
- ・飲食店の社員研修
- ・観光客向けの作付け収穫体験
- ・大学の研究 等



企業・団体等による、農地活用を促進

イノシシ被害対策事業（5,325万円）

【農業振興・イノシシ等対策担当】

➤イノシシによる被害防止を図るため、被害対策の基本である「**個体群管理（捕獲）**」「**侵入防止対策（防除）**」「**生息環境管理**」の取組みを推進

令和7年度の主な取組み

【個体群管理（捕獲）】

- 猟友会・民間事業者による集中捕獲
- 生息調査

【侵入防止対策（防除）】

- 市独自の侵入防止柵導入支援

【生息環境管理】

- 地域ぐるみの生息環境管理支援



3. 農水産物の消費拡大及びブランド化の推進

市内産農水産物の学校給食等での活用による消費拡大・地産地消を推進するとともに、食の安全・安心に向けて生産現場における安全管理の啓発や食育を推進する。
また、市内産農水産物の特性を活かし、ブランド化に向けて取り組む。

(1)消費拡大、地産地消の推進

農畜産物消費拡大推進事業【340万円】（政策企画課）

体験教室の開催や販売促進支援による市内産農畜産物の消費拡大の促進

次代へつなぐ地産地消推進事業【1億2,218万円】（政策企画課）

(2)ブランド化の推進

食関連産業チャレンジ促進事業【200万円】（政策企画課）

産学官が連携し、食関連産業における新たなチャレンジの支援等を実施

「ふくおかさん家のうまかもん」推進事業【724万円】（政策企画課）

「うまかもん」の認知度向上・利用促進に向けて、認定店と連携し情報発信等を実施

農産物ブランド創出・販路拡大事業【817万円】（政策企画課）

農産物の商品開発や販売促進などによるブランド創出及び販路拡大を支援

アグリビジネスツアー事業【900万円】（政策企画課）

市内産農産物の消費拡大に向け、シェフやバイヤー対象の生産地ビジネスツアー・商談会を実施

新規

福岡市内産花き魅力向上事業【643万円】（農業振興・イノシシ等対策担当）
（政策企画課）

➤ 児童・生徒が興味関心を持ち、記憶に残る市内産農水産物を、旬やストーリーを踏まえ、学校給食に提供することにより、市内産農水産物に対する理解や愛着を深め、将来にわたって持続可能な地産地消を推進

○人気の市内産農水産物を学校給食に提供



博多和牛



あまおう



ブリ

○生産者が直接、児童・生徒に魅力を伝える



将来にわたる地産地消への関心

給食で食べた市内産
○○！買ってみよう！



●子どもたちの声

- ・市内で美味しい農水産物が作られているんだね！
- ・和牛って美味しい。家でも食べたい！
- ・生産者の話を聞いて、市内産農水産物に興味を持ちました。

●学校の声

- ・児童・生徒たちの興味を引くメニューで、地産地消とは何かを学ぶ機会になった。
- ・児童・生徒たちもとても喜び美味しく食べていた。素敵な取り組みだと思う。

地産地消

新規 福岡市内産花き魅力向上事業（643万円）

【農業振興・イノシシ等対策担当】
【政策企画課】

➤ Fukuoka Flower Show の開催を契機に、高付加価値な花きの生産に向けた意見交換等を行うとともに、市内産花きのPR事業を実施し、花き業界全体の魅力向上につなげる

福岡市内産花きの魅力向上

市内花き農家による高付加価値な花きの生産に向けた取り組みを実施

- 花関連事業者との交流会
- 先進地の視察
- 花の最新トレンド等についての研修



交流会



視察



研修

花き業界全体の
魅力向上へ！



福岡市内産花きのPR

市内産花きの認知度向上と消費拡大

- フラワーアレンジメント教室
- 生産者直売会 など



バラ



高付加価値を目指す



トルコギキョウ

4. 農山漁村地域の振興及び都市との交流促進

農山漁村地域の特性を活かした農林水産業の振興を図り、持続可能な農山漁村づくりに取り組む。
また、農業の重要性や魅力など認識の共有を図り、市民への「農」に関する情報発信の充実に努め、
農と都市との交流を促進する。

(1) 農山漁村地域の振興

新規

農山漁村地域ブランディングプロジェクト【800万円】（政策企画課）

新規

農村地域みんなで支える農業プロジェクト【867万円】（政策企画課）

(2) 都市との交流促進

市民農園拡大推進事業【100万円】（農業政策課）
市内の農地を市民農園として開設する整備費の一部を助成

ふれあい施設の管理・運営、施設整備【5億2,236万円】（政策企画課）
油山市民の森や油山牧場等のふれあい施設の改修工事等

(3) 農山漁村地域における快適な生活環境の確保

集落排水処理施設の管理・運営【2億6,584万円】（漁港課）
排水処理施設の維持管理・機器更新、経営改善に向けた検討

新規 農山漁村地域ブランディングプロジェクト（800万円）

【政策企画課】

➤ 民間企業等のノウハウや販路を活用し、農山漁村地域の農水産物を使用した商品開発やPR等を実施

地域ごとに、生産者とノウハウや販路などのリソースを持つ民間企業等との協働プロジェクトとして、魅力的な商品や地域ブランドをつくり育てる取組み（地域ブランディング）を推進



【地域ブランディング】

- 商品開発/再編集 ⇒ 付加価値向上
- 都市部での販売/PR ⇒ 売上増加



- 生産者の所得向上
- 地域の魅力向上



新規 農村地域みんなで支える農業プロジェクト（867万円）

【政策企画課】

➤ 農村地域の人手不足解消に向け、地域農業への市民参加を促進

人手不足の課題を抱える農村地域と市民をつなぐ
農業体験・応援ツアーを実施



- 農村地域の人手不足の解消
- 生産者と消費者の交流による
農業の理解促進を図る



- 関係人口増加による地域活性化
- 将来的な担い手の確保につなげる

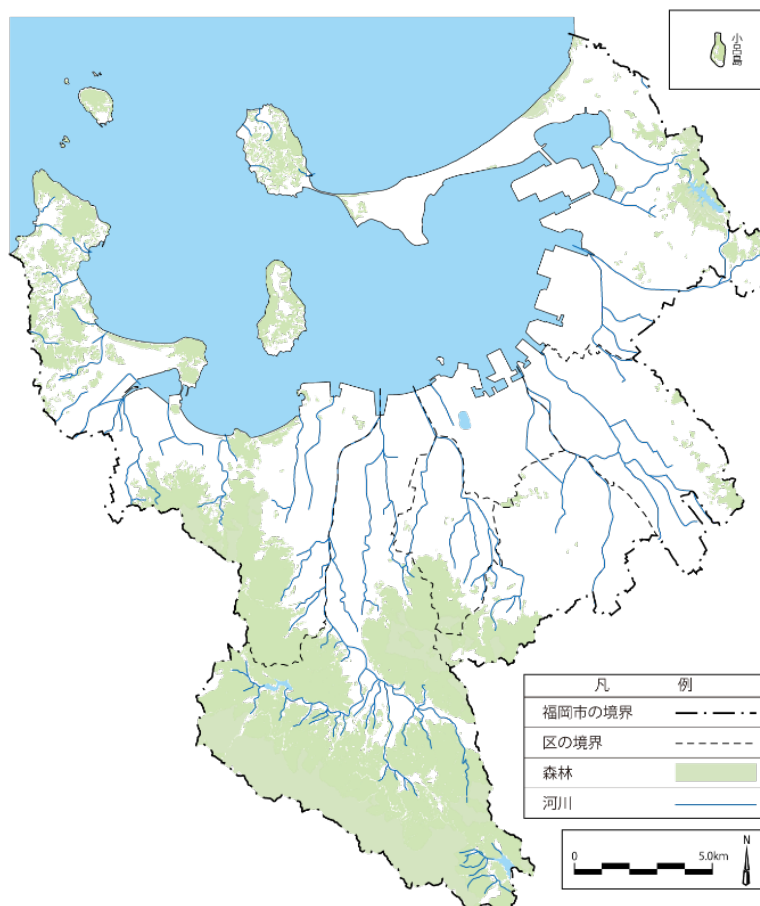
Ⅱ 林業

第1 林業を取り巻く情勢

1 森林の概況

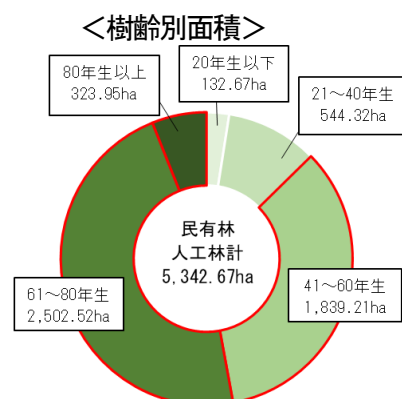
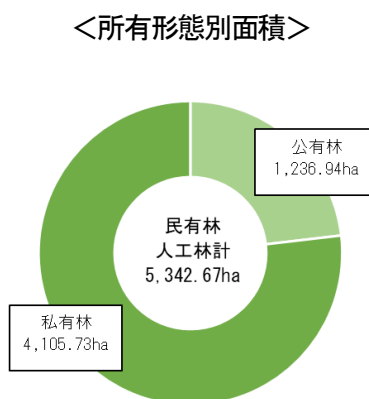
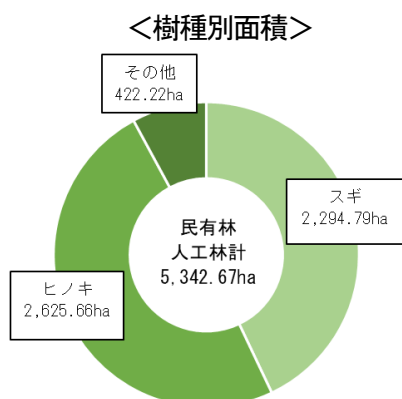
(1) 森林面積

本市の森林面積は、約 12,000ha で市域面積の約 3 分の 1 を占めており、森林と都市がコンパクトに調和し、森林の存在と価値を身近に感じることができる。



資料：「福岡市森林整備計画」

- 森林は、森林法により、国有林と民有林（国有林以外）に区分されている。
- 民有林人工林は約 9 割がスギ・ヒノキであり、約 8 割が個人や法人が所有する私有林。
- また、民有林人工林の 8 割以上が樹齢 41 年生を超え、木材として利用可能な時期となっている。



資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（令和6年）等

(2) 規模別山林所有者数

山林を所有する個人のうち、約 98%は 5 ha 未満の小規模所有者。

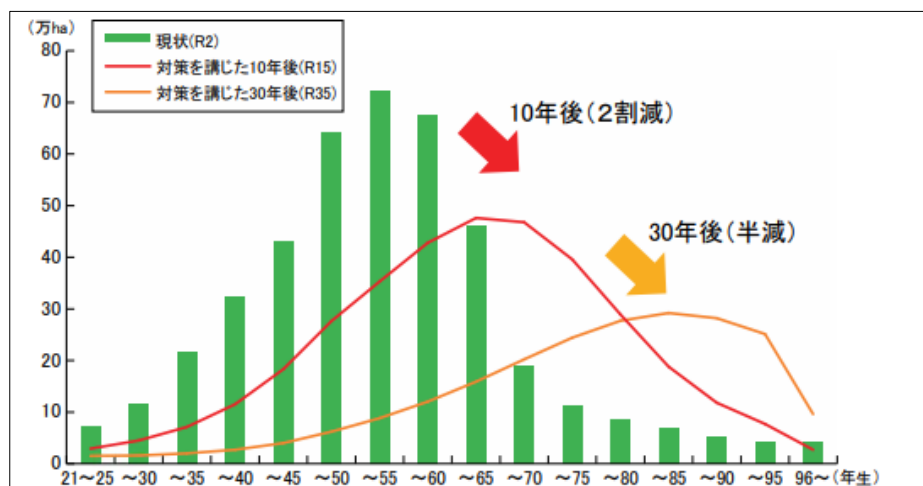
＜規模別山林所有者数（令和 6 年）個人分＞

区分	総数	1ha 未満	1ha 以上 5ha 未満	5ha 以上 10ha 未満	10ha 以上 50ha 未満	50ha 以上
所有者数（人）	5,430	4,399	928	82	21	—
割合（%）	100.0	81.0	17.1	1.5	0.4	—

資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（令和 6 年）

参考：花粉発生源対策

- ・平成 10 年に約 16%であったスギ花粉症の有病率が令和元年には約 39%となるなど、社会問題化している花粉症への対策を図るため、国は令和 5 年 4 月に「花粉症に関する関係閣僚会議」を設置、5 月に「花粉症対策の全体像」を決定した。
- ・花粉発生源であるスギ人工林を減らす「発生源対策」、飛散防止剤の開発等の「飛散対策」、治療薬の増産等の「発症・暴露対策」に総合的に取り組む方針が示され、スギ人工林を 10 年後に 2 割減少、30 年後に半減を目指す目標が掲げられている。



花粉発生源となるスギ人工林の将来像

- ・国の方針を受け、福岡市においては、31 年生以上のスギ・ヒノキ人工林約 4,600ha を対象に 10 年間（令和 6 年度～15 年度）で 2 割削減（920ha）を目指すこととしている。

＜福岡市における花粉発生源対策関連事業＞

- 森林の荒廃を防ぐ取組み（針広混交林化への誘導）・・・ P65
- 森林資源の循環利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P70
- 間伐材の有効活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P71
- 地域産材の利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P72

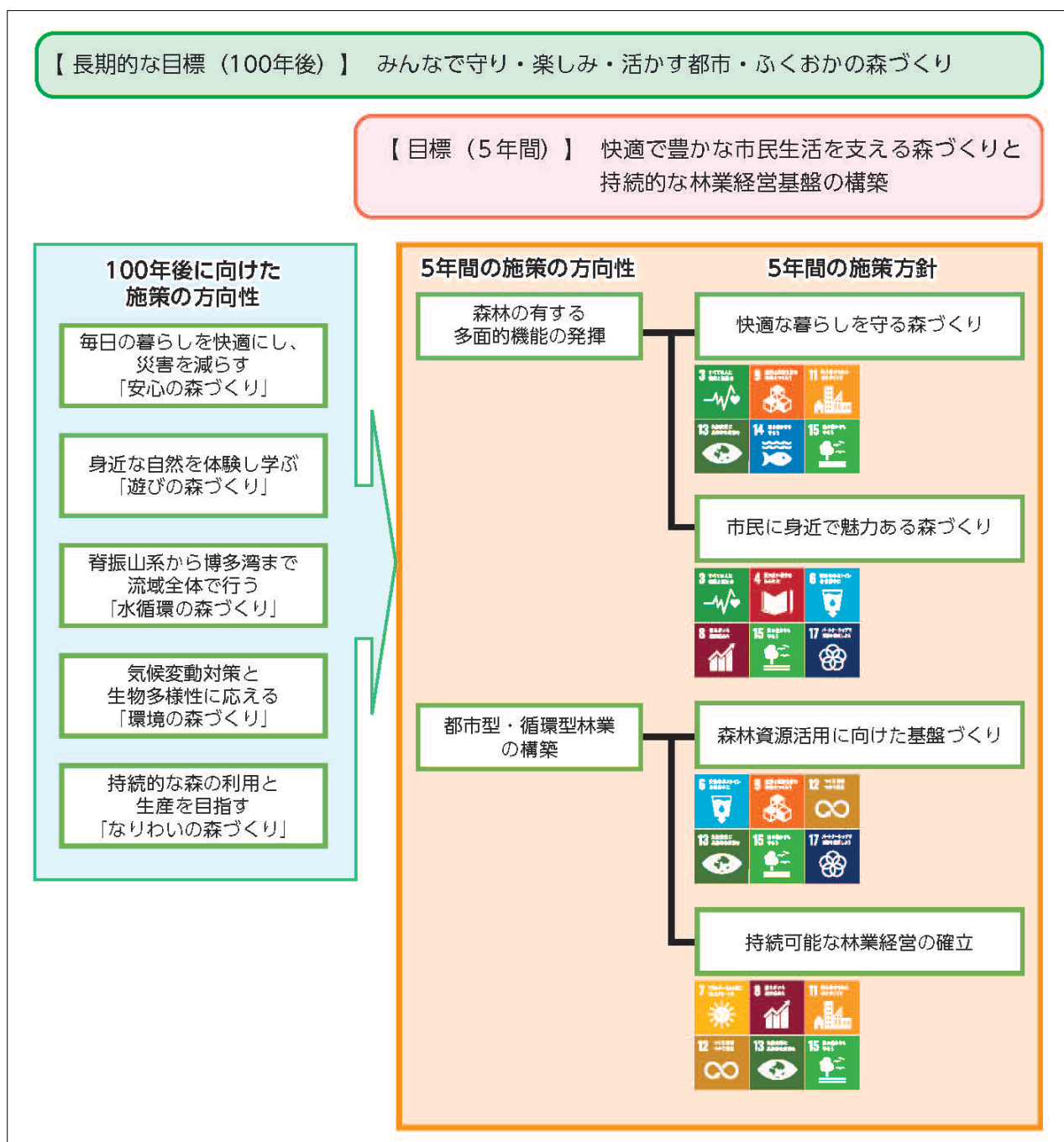
第2 令和6年度の取組み

農林業総合計画における施策の体系（林業）

市域の3分の1を森林が占める福岡市では、森づくりの長期的な目標等を Fukuoka Green NEXT として掲げ、森の恵みや豊かさを市民全体で育て、ふれあい、将来にわたり森を活用していくことにより、森林の持つ多面的機能を広く享受することを目指しており、その目標実現に向けた5年間の施策方針を農林業総合計画において示しています。



<施策の体系>



1 森林の有する多面的機能の発揮

森林の適切な管理に向けて、ICTを活用した境界明確化や所有者への意向調査を実施するとともに、松くい虫対策など暮らしを守る森林の保全に努めた。

また、皮むき間伐ワークショップなど、市民が森林に親しみ理解を深めるための取組みを実施した。

(1) 快適な暮らしを守る森づくり

① 森林の適正な管理に向けた取組み

- ・森林の適正な経営管理の推進を図るため、森林所有者に対し、今後の森林管理についての意向調査や森林整備を円滑に実施する前提となる森林境界の明確化を実施。
- ・令和6年度は森林境界明確化を実施し境界案を約275haで作成し、令和7年度に同意取得と意向調査を実施予定である。

<意向調査及び境界明確化の実績(面積)>

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
意向調査	10ha	110ha	146ha	197ha	378ha	-
境界明確化	-	-	21ha	83ha	96ha	※ 275ha

※ 境界明確化の令和6年度の面積は境界案を作成した面積

〔意向調査は経営管理がされていない私有林人工林(約2,000ha)が対象
境界明確化は市内森林の地籍調査未了面積の割合から約1,000haが対象と見込んでいる〕

<意向調査>

- ・令和元年度から5年度までの調査件数2,056件のうち、6割の1,267件から意向回答があり、「所有者自身で管理する」が約2割、「管理困難のため誰かに委ねたい」が約5割、「未定」が約3割となっている。
- ・管理困難と回答のあった森林のうち、約60haを市において間伐等の整備を実施した。

<令和5年度までの意向調査回答の内訳>

森林管理の意向	所有者数	割合
自身で管理	253	20.0%
管理困難のため、誰かに委ねたい	605	47.8%
未定(わからない)	325	25.6%
その他(空欄等)	84	6.6%
合計	1,267	100.0%

※令和6年度に境界案を作成した地域については令和7年度に意向調査実施予定

＜境界明確化＞

- ・令和 3 年度に西区金武地区から実施。
- ・令和 5 年度まで 200ha を実施し、森林境界の同意率は 6 割程度。
- ・令和 6 年度に境界案を作成した約 275ha については令和 7 年度に同意取得実施予定。

＜境界明確化の取組み状況＞

年度	件数	筆数	同意件数	同意割合	エリア
3 年度	47	120	29	61.7%	西) 金武
4 年度	63	269	34	54.0%	西) 金武等
5 年度	105	265	59	56.2%	西) 金武等
合計	215	654	122	56.7%	



【境界明確化の地元説明会】

② 森林の荒廃を防ぐ取組み（針広混交林化への誘導）

花粉発生源対策関連事業

- ・市内で、手入れがなされず今後荒廃する恐れがあると市で確認した私有林は全体の 6 割以上となっている。（市内私有林 4,106 ha のうち 2,587 ha）
- ・荒廃の恐れがある森林を、公益的機能が長期的に発揮できる森林に誘導するため、平成 20 年度より強度間伐による森林整備を実施している。



【平成 20 年度整備時点】



【令和 5 年の状況】

＜荒廃森林整備面積の推移＞

（単位：ha）

年度	H20～R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
整備面積	1,258	43	40	41	39	28

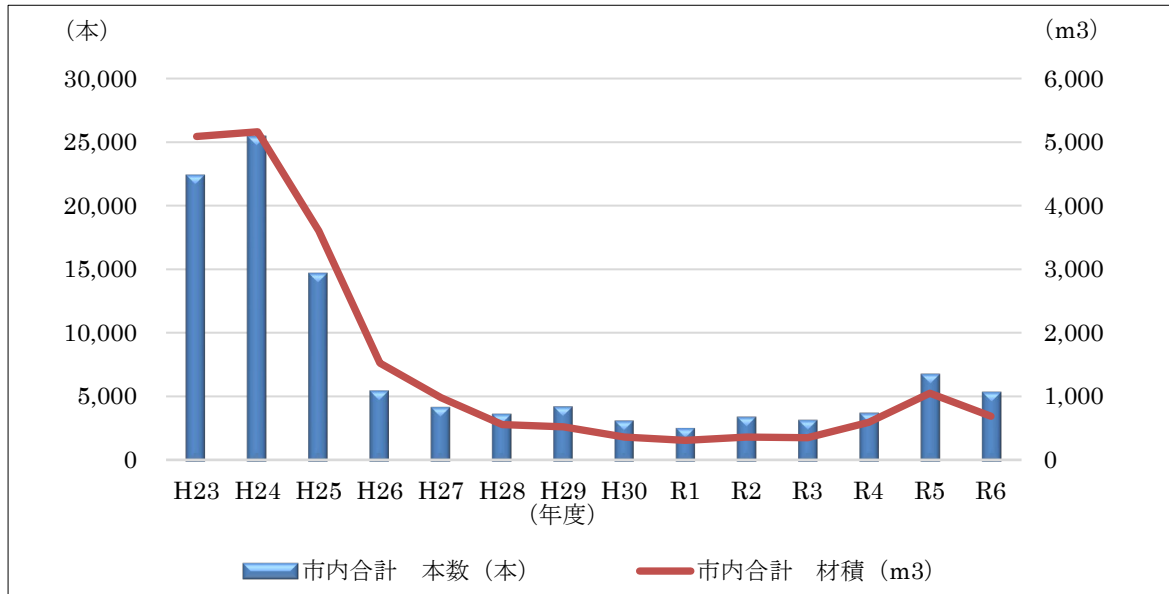
③ 松林保全の取組み

- ・市内東部・西部の海岸線を中心に約 339 ha の松林が広がっており、防風・防砂や景観形成など市民の生活環境の保全に寄与している。
- ・市内における松くい虫被害は、平成 24 年度をピークに減少傾向。令和 6 年度は被害本数でピーク時の約 4 分の 1、被害材積で約 8 分の 1 となっている。



【今津大原海岸の松林】

＜市内における松くい虫被害の推移＞



- ・防風、防砂や景観形成などの公益的機能の保全が必要として、県または市が指定する松林（市内約 134ha）を対象に、松くい虫被害を鎮静化するため、国、県や近隣市町等関係者と連携して、毎年、松くい虫の駆除及び予防対策に取り組んでいる。

＜主な取組み＞

薬剤の無人ヘリ・地上散布（5月）
被害木の調査および伐倒駆除（春、秋、冬の3回）
健全木への薬剤の樹幹注入（12～1月）



【薬剤の地上散布の状況】



【薬剤の樹幹注入の状況】

(2) 市民に身近で魅力ある森づくり

① 油山市民の森・油山牧場のリニューアル

- ・令和元年度に油山市民の森が開園50周年を迎えたことを契機とし、さらに魅力ある施設としていくため、隣接する油山牧場と一体的な運営を含めたリニューアルに取り組み、令和6年4月に全面オープンした。

<今までの経緯>

令和3年11月	事業者公募開始
令和4年11月	リニューアル工事開始
令和5年4月	第1期施設リニューアルオープン
令和6年4月	グランドオープン

<リニューアルした主な施設>



【森のオフィス・ショップ】
(旧市民の森管理事務所)



【森林アスレチック (国有林)】



【Q-Nature (シェアオフィス)】



【YAKEI SUITE (宿泊施設)】

② 森づくりについての普及啓発

- ・ 森づくりの体験イベントや見学会を実施



【皮むき間伐ワークショップ】
(R6. 5 早良区石釜)



【伐採現場見学会】
(R6. 12 西区金武)

- ・ 民間事業者と連携した普及啓発



【RKB カラフルフェス 2024】 (R6. 10)



【新春アイラブホームフェア】 (R7. 1)

- ・ 市内産材を活用した製品やノベルティの制作



【花の屋台】 (R7. 3)



【ブンブンコマ】農林水産まつり (R6. 11) で配布

2 都市型・循環型林業の構築

林道の維持管理や林道台帳の作成等、計画的な生産基盤づくりに取り組むとともに、地域産材の利用促進、利用間伐、市営林の整備等、持続可能な林業経営の確立に努めた。

(1) 森林資源活用に向けた基盤づくり

① 林道等の整備状況

- ・令和2年度末に森林基幹道「早良線」(延長約15.2km、幅員5.0m)が全線整備が完了。
- ・令和6年度までの市内林道の整備状況は右の表のとおり。

＜林道延長等＞(令和6年度末現在)

林道	109.2 km
森林作業道	98.1 km
路網密度	25.5 m/ha

② 林道等の台帳整備や維持管理

- ・市内林道の84路線について、林道の実測図や修繕履歴などの電子データ化を進めており、令和6年度までに、65路線(77%)の整備が完了。
- ・林道の橋梁23橋を対象に平成30年度に長寿命化計画を策定。令和6年度は工事(2橋)を実施。
- ・林道の法面、舗装、排水施設など施設の補強や予防保全、点検・維持修繕を行った。
令和6年度は林道西山線改良工事など整備工事2件(4路線)を実施。



【既存林道の施設補強工事】

③ 林道の災害への対応状況

- ・集中豪雨による林道被災が頻発しており、令和5年7月豪雨においても、林道26路線74箇所で法面や路肩崩壊、土砂堆積等の被害が発生した。
- ・森林基幹道である早良線の早期復旧を基本に復旧工事を実施している。



【林道の被災状況】



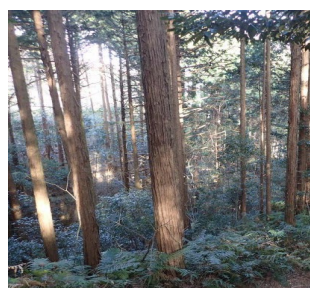
【林道の復旧状況】

(2) 持続可能な林業経営の確立

① 森林資源の循環利用

花粉発生源対策関連事業

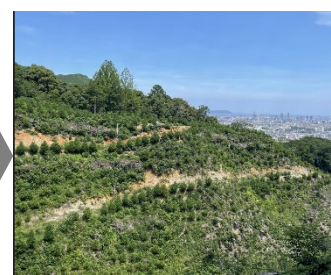
- ・令和元年度からスギ・ヒノキ人工林について、広葉樹等への植替えを開始し、花粉発生源対策を推進している。



【スギ・ヒノキ人工林】



【広葉樹等へ植替え】



【広葉樹等の成長】

<市営林における伐採（主伐）の実施状況>

(単位：ha)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
主伐面積	2.03	3.00	3.08	3.00	7.46
実施場所	城南区 大字東油山	早良区 大字椎原	早良区 大字椎原	早良区大字椎原 西区大字金武	早良区大字脇山 大字石釜 大字曲渕 西区大字金武

- ・長期間の保育による材価の向上と森林保全のため、市営林で樹木の成長段階に合わせた下刈り、枝打、除伐、間伐等を計画的に実施している。

<市営林における間伐の実施状況>

(単位：ha)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
間伐面積	109.86	147.67	85.42	86.68	93.48
実施場所	西区 大字小田 外	西区 大字宮浦 外	西区 大字宮浦 外	西区 大字宮浦 外	西区 大字金武 外

＜市営林について＞

- ・福岡市の森林約 12,000ha のうち、市営林は約 1,900ha。
- ・市営林は、市有林と福岡市が森林所有者に代わって管理を行う分収林がある。

＜分収林とは＞

林業生産活動が停滞することで森林が有する水源かん養、災害防止などの多面的機能が失われることを防ぐとともに、経済性の高い健全な森林を造成するために、分収林特別措置法（昭和 33 年創設）に基づき、森林所有者に代わって所有者以外の者が造林保育を行うことにより、その森林からの収益を一定の割合で分け合うもの（本市では昭和 52 年より事業実施）。

種別	面積（ha）	備考
市営林	1919.1	
分収林	1028.7	契約件数 1245件
分収造林	810.9	植林および保育管理を市が実施
分収育林	217.8	保育管理のみ市が実施
市有林	890.4	
農林水産局所管	230.8	
油山市民の森	93.4	
水道局所管（水源かん養林）	566.2	

② 間伐材の有効活用 **花粉発生源対策関連事業**

- ・平成 28 年度から、市営林（分収林）において、航空レーザ計測によるデータを活用した森林作業道の効率的な整備を実施することにより、従来、搬出コストが見合わず、森林に切り捨てられていた間伐材の搬出を試みる取組みを「林業資源ビジネス化プロジェクト」として実施。

＜林業資源ビジネス化プロジェクトの実施面積等＞

（単位：ha）

年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
間伐面積	10.68	10.26	12.12	3.85	4.69
実施場所	早良区 大字椎原	早良区 大字椎原	早良区 大字板屋	西区 今津	早良区 脇山

③ 地域産材の利用促進

花粉発生源対策関連事業

ア. 地域産材の活用

- ・令和6年度は照葉はばたき公民館の木造化及び、城浜高等学園、雑餉隈駅・桜並木駅自転車駐輪場フェンスの木質化などにおいて地域産材を活用した。
- ・民間施設においても地域産材の活用を支援した。



【照葉はばたき公民館（木造）】



【交差点ベンチ】（南警察署西口交差点）



【城浜高等学園（木質化）】



【桜並木駅自転車駐輪場フェンス】



【木造によるコンビニ店舗】
（セブン・イレブン福岡ももち店）

<市公共施設における木材使用量等>

年 度	4 年度	5 年度	6 年度
木材使用量	908 m ³	1221 m ³	822 m ³
うち地域産材	122 m ³	199 m ³	263 m ³
主な使用箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所（東、南、城南、早良） ・小中学校（西都北小他） ・公民館（飯倉中央他） ・市営住宅（下山門他） ・バス停ベンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所（東、中央、西部出張所） ・小中学校（春住小他） ・公民館（西都北公民館他） ・市営住宅（城浜他） ・ABURAYAMA FUKUOKA 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館（照葉はばたき公民館他） ・学校（城浜高等学園他） ・市営住宅（下山門住宅他） ・駅駐輪場フェンス ・交差点ベンチ

イ. 地域産材供給の仕組みづくり

- ・身近な森林資源である市内産材の一層の活用を図ることを目的に、市営林等で伐採した木材（市内産材）を旧原田加工場等にストック・供給する取組みを県広域森林組合の協力のもと令和４年度より開始。
- ・市民局と連携し、毎年３館程度改修を実施している公民館等について、木造化や内装材に市内産材の活用を進めている。



【照葉はばたき公民館】

＜市内産材のストック・供給の流れ＞



伐採
(市有林等)



丸太
(森林組合南支店)



製材
(森林組合南支店)



ストック
(旧原田加工場)



木材利用
(公共施設等)

【従来の課題】

- ・市場に出荷した場合、一般的な木材流通ルートから**市内産材のみを抽出して調達することが難しい**
- ・伐採時期が秋～冬に限定されており、設計内容や工事予算が確定してから伐採加工すると**納期に間に合わない**



市内産材の安定的かつ円滑な利用が可能に！

- ・庁内の使用予定量を把握し、市有林の伐採時に**丸太をあらかじめ確保**することにより市内産材を**安定供給**できる
- ・一次製材をストック→発注後すぐに二次加工へ回すことにより、**納期が明確化・短縮化**できる

3 森林環境税・森林環境譲与税

① 森林環境譲与税の本市への配分額推移

- ・国の森林環境税（1人年額1,000円）の徴収が、令和6年度から開始された。
森林環境譲与税は森林整備の財源として、私有林人工林面積、林業就業者数、人口による按分で全国の市町村に配分されている。

＜森林環境譲与税 福岡市への配分額推移＞

（単位：千円）

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
67,530	143,502	146,978	194,256	194,256	215,122	235,000

※令和元年度～6年度は決算額、令和7年度は予算額

② 本市の森林環境譲与税の活用状況（令和6年度）

令和6年度決算状況一覧

事業名	事業総額（千円）			事業概要
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）	
森林経営管理制度推進事業	31,228	31,228	0	森林の適正な管理と公益的機能の十分な発揮を目的として、適切な経営管理が行われていない森林を対象に意向調査や境界明確化等を実施
林道等防災事業 （旧：林道保全事業）	61,469	30,637	30,832	森林整備の基盤の維持保全を図るため、林道等の予防保全や維持修繕などを実施
花粉発生源対策関連事業				
花粉発生源対策事業	36,151	7,382	28,769	市営林（スギ・ヒノキ人工林）について、花粉対策苗木（広葉樹等）への植替えを実施
市営林造林保育事業	49,127	44,252	4,875	森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるとともに林業振興に資するため、市営林の間伐などの保育管理を実施
地域産材利用促進事業	99,263	99,263	0	公共建築物等への地域産材の利用促進を実施
森づくり普及啓発事業	1,360	1,360	0	市民の森林や森づくりへの関心を高めるとともに木材利用につながる普及啓発を実施
市民の森管理費	74,600	1,000	73,600	市民に身近な自然と緑のレクリエーションの場を提供するため、油山市民の森を指定管理により管理・運営
合 計	353,198	215,122	138,076	

4 目標項目の進捗状況（林業）

【快適な暮らしを守る森づくり】

①長期間手入れがなされていない森林の再生面積

（単位：ha）

	平成20～令和2年 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和8年度 （累計目標値）
間伐面積	1,301	1,341	1,381	1,424	1,452	1,630

【市民に身近で魅力ある森づくり】

②森林ボランティア事業へののべ参加人数

（単位：人）

	令和2年度 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和8年度 （目標値）
人数	2,326	4,045	3,648	3,788	5,245	2,800

※森林ボランティア事業は、市関連事業を対象とする

【森林資源活用に向けた基盤づくり】

③林道台帳（電子データ）の整備

（単位：路線、％）

	令和2年度 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和8年度 （累計目標値）
路線数	46	48	53	57	65	84
整備率	55	57	63	68	77	100

【持続可能な林業経営の確立】

④林業生産

（単位：m³、千円）

	令和2年度 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和8年度 （目標値）
木材生産量	7,503	9,798	13,717	5,036	9,549	8,900
うち主伐	4,563	7,232	10,899	2,622	7,374	5,500
うち利用間伐	2,940	2,566	2,818	2,414	2,175	3,400
木材生産額	107,481	207,267	297,320	91,232	133,328	130,700

⑤市公共施設整備における木材使用量

（単位：m³）

	平成28～令和2年 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和4～8年度 （目標値）
木材使用量	5,333 (1,067m ³ /年度)	620	908	1,221	822	6,500 (1,300m ³ /年度)

※1,300m³は、平均的な木造住宅54戸分に相当

⑥市公共施設整備の木材使用量における地域産材（県産材含む）の割合

（単位：％）

	令和2年度 （初期値）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （現状値）	令和8年度 （目標値）
使用割合	3.9	6.3	13.5	16.3	32.0	5.0

第3 令和7年度の取組み（農業・林業）

1 予算と重要施策

【予算】

区分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	差引増減額 (A - B)	対前年比 (A / B)
農林業予算計	45億 621万円	42億9,919万円	2億 702万円	104.8%
うち農林業重要施策	33億2,065万円	30億5,117万円	2億6,948万円	108.8%
農業	28億7,801万円	26億4,514万円	2億3,287万円	108.8%
林業	4億4,264万円	4億 603万円	3,661万円	109.0%

【重要施策】

重 要 施 策	令和7年度	令和6年度
1. 福岡市農林業・水産業総合計画の推進	503万円	224万円
2. 持続できる強い農業の推進	20億3,810万円	19億2,983万円
3. 豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進	4億4,264万円	4億 603万円
4. 農水産物の消費拡大及びブランド化の推進	1億6,128万円	1億4,569万円
5. 農山漁村地域の振興及び都市との交流促進	6億7,360万円	5億6,738万円

2 重要施策における主な事業

1. 福岡市農林業総合計画の推進

P53参照

2. 豊かな森づくりと森林資源循環利用の推進

森林の適切な管理に向けた森林所有者への意向調査や森林整備等を実施するとともに、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を進めることにより、着実に花粉発生源対策に取り組む。

森林経営管理制度推進事業【3,497万円】（森づくり推進課）
森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査及び森林の境界明確化等

松くい虫防除による住環境保全対策事業【2,869万円】（森づくり推進課）
防風・防砂や景観形成に重要な松林を対象に松くい虫防除対策を実施

拡充

花粉発生源対策関連事業【2億7,020万円】（森づくり推進課）

- ・花粉ゼロの森づくり推進事業【5,874万円】（森づくり推進課）
市営林（スギ・ヒノキ人工林）における広葉樹等への植替えを実施
- ・森を育てる間伐推進事業【5,393万円】（森づくり推進課）
市営林の間伐等を実施
- ・森の再生プロジェクト【3,650万円】（森づくり推進課）
荒廃森林（私有林）の整備を実施
- ・地域産材利用促進事業【1億200万円】（森づくり推進課）
身近な森林資源の有効活用を促進するため、公共施設等の木材利用を実施

新規

花粉リデュース促進事業【1,903万円】（森づくり推進課）
林業機械リース費等の支援による私有林の植替えを促進

林道整備事業【201万円】（森づくり推進課）
早良線の用地測量、新規林道の検討

林道長寿命化事業【375万円】（森づくり推進課）
林道の橋梁について、定期点検、計画的修繕を実施

拡充

花粉発生源対策関連事業 (2億7,020万円)



- ・花粉ゼロの森づくり推進事業 (5,874万円)
- ・地域産材利用促進事業 (1億200万円)
- ・花粉リデュース促進事業 (1,903万円) ほか

【森づくり推進課】

- スギ・ヒノキ人工林の伐採を加速化するとともに、**民間施設の木材利用の促進**に取り組む
- 花粉対策を着実に推進するため、板屋から那珂川市を横断する**新たな林道の開設に向けた検討**に着手



伐採の加速化

国、県、森林組合等と連携・協力して
スギ・ヒノキ人工林を
2割削減
(R6から10年間)



地域産材の利用を拡大

民間施設での木材利用を促進するため、**相談窓口を設置**するとともに、**木質化等費用を支援**する制度をスタート！



木質化事例(洋菓子店・西区田尻)



木質化事例(飲食店・ABURAYAMA FUKUOKA)

民間施設木質化支援のイメージ



照葉北公民館ロビーイメージパース

(公共施設の木質化)
照葉北公民館
⇒R7.10完成予定
周船寺中学校
⇒R8.4開校予定
舞鶴小中学校増築
⇒R8.2完成予定



新たな林道の開設



新たな林道

県・那珂川市と連携して検討開始

新規 花粉リデュース促進事業 (1,903万円)

【森づくり推進課】

- 民有林のスギ・ヒノキ人工林伐採を促進するため、林業機械リース費等の**市独自支援策**をスタート！

○林業機械レンタル・リース経費補助
⇒ 経費の1/2

○スギ・ヒノキ伐採木の運搬経費補助
⇒ 県補助の上乗せ



- ✓ 労働力不足の解消
- ✓ 生産性の向上



- ✓ 原木市場への出荷増
- ✓ 地域産材の流通量増

花粉発生源対策
のさらなる促進